大阪府総務部市町村課（問い合わせ：06―6941―0351（内線3501））

特集 予算の特色と施策体系別主要事業一覧

平成19年度府内市町村当初予算の概要

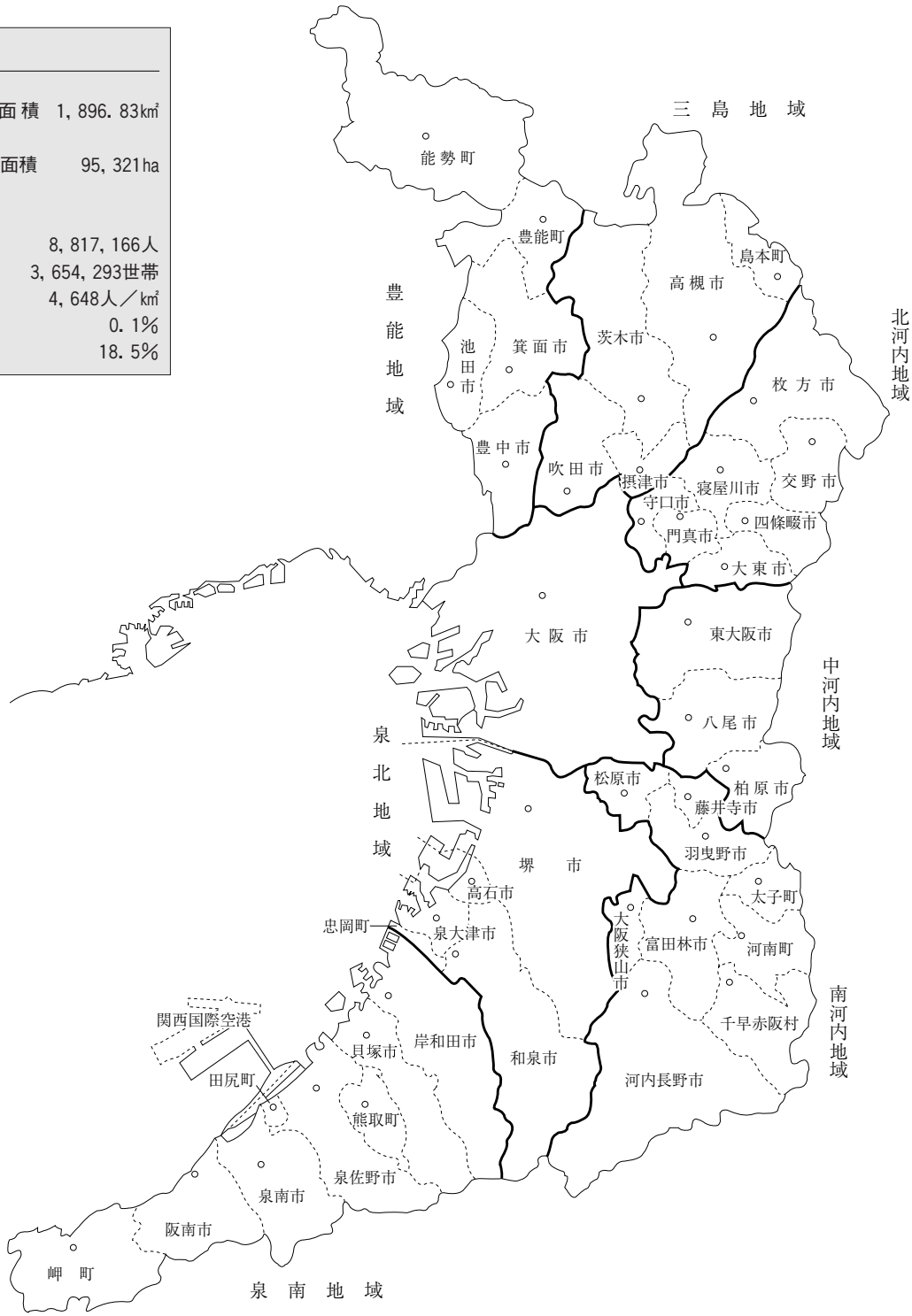
大阪府

■面積

行政区域面積	1,896.83㎢
市街化区域面積	95,321ha

■人口動態

人口	8,817,166人
世帯数	3,654,293世帯
人口密度	4,648人／㎢
人口伸率	0.1%
高齢化率	18.5%



利用上の注意

① 行政区域面積は、国土交通省国土地理院「平成17年全国都道府県市区町村別面積調」（平成17年10月１日現在）による。

ただし、境界未定団体（大阪府内では大阪市淀川区、豊中市）については、総務省統計局において推定した数値である。

② 市街化区域面積は、大阪府都市整備部総合計画課（平成19年３月現在）による。

③ 人口、世帯数、人口密度、人口伸率は総務省統計局平成17年国勢調査による。高齢化率は、総務省統計局平成17年国勢調査による。

＊ 人口伸率は、平成17年と平成12年の国勢調査人口の比較である。

＊ 高齢化率は、総人口に占める65歳以上の人口の割合である。

④ 骨格＝平成19年度骨格予算　暫定＝平成19年度暫定予算　※＝平成18年度骨格予算

＊ 平成18年度当初予算を骨格予算で編成した団体については、平成19年度当初予算総額・一般会計予算の対前年度比を「骨格予算比（肉付け後予算比）」としている。

豊能地域

能勢町

■面積

行政区域面積	98.68㎢
市街化区域面積	103ha

■人口動態

人口	12,897人
世帯数	3,844世帯
人口密度	131人／㎢
人口伸率	△9.1%
高齢化率	22.6%

豊能町

■面積

行政区域面積	34.37㎢
市街化区域面積	315ha

■人口動態

人口	23,928人
世帯数	7,925世帯
人口密度	696人／㎢
人口伸率	△7.0%
高齢化率	19.3%

箕面市

■面積

行政区域面積	47.84㎢
市街化区域面積	1,985ha

■人口動態

人口	127,135人
世帯数	51,646世帯
人口密度	2,658人／㎢
人口伸率	1.8%
高齢化率	16.8%

池田市

■面積

行政区域面積	22.11㎢
市街化区域面積	1,088ha

■人口動態

人口	101,616人
世帯数	43,401世帯
人口密度	4,596人／㎢
人口伸率	0.1%
高齢化率	18.7%

豊中市

■面積

行政区域面積	36.38㎢
市街化区域面積	3,660ha

■人口動態

人口	386,623人
世帯数	161,418世帯
人口密度	10,627人／㎢
人口伸率	△1.3%
高齢化率	18.4%

豊中市

※

平成19年度当初予算総額　268,415百万円　対前年度比　7.8%増（6.1%増）
平成19年度一般会計予算　123,919百万円　対前年度比　3.2%増（1.8%増）

Ⅰ．予算の特色

平成19年度は、定率減税の廃止等により市税収入が大幅に伸びたものの、地方特例交付金の大幅減額や所得譲与税の廃止などにより、一般財源全体としてはわずかな伸びに止まった。しかも、三位一体の改革による税源移譲は３億６千万円にすぎないのに国庫補助負担金は26億円のマイナスの影響を受け、厳しい予算編成となった。そのため、豊中市行財政再建計画の56項目を予算に反映させ、職員定数の見直し等による人件費削減、事務事業の見直しや歳入確保により、全会計で49億8,600万円の効果をあげたが、なお大幅な財源不足が生じ、特定目的基金の繰入運用や土地売却などの臨時的収入によりかろうじて収支均衡を維持した。

こうしたなか、市長就任後初の本格的な予算編成として、目指すべき６つの都市像（教育文化都市、安心安全都市、市民自治都市、活力都市、環境共生都市、自主自律都市）の実現に向け、14項目40事業を重点的に推進すべき施策に定め、限られた財源のなかで重点配分を図り、「子どもたちの未来が輝くまちづくり」にむけ、①教育の充実と子どもの安心・安全、②少子化対策の充実、③耐震改修の促進、浸水対策の強化など安全なまちづくり、④健康で、安心して暮らせるまちづくり、⑤参加・協働の仕組みづくりと行財政改革に取り組むこととした。

現行行財政再建指針の期間満了に伴い、今後見込まれる行財政環境の厳しい変化に対応できるよう新しい行財政改革大綱とそれに基づくプランを策定し、これからも財政の健全化に向けた取り組みを進める。

Ⅱ．施策体系別主要事業一覧

	予算額 単位万円
1．教育文化都市とよなかの創造	
①中学校少人数学級事業㊨	5,413
②中学校読書活動推進事業㊨	210
③中学校12校への冷房設備設置	72,000
④校内ＬＡＮの推進	5,472
⑤妊婦健康診査の公費負担の拡大	4,203
⑥市立幼稚園における預かり保育の充実	292
⑦私立幼稚園における「地域に開かれた幼稚園づくり」㊨	1,320
⑧地域子ども教室と留守家庭児童会事業の充実と連携の推進㊨	5,898
⑨文化芸術センター（仮称）の建設に向けた取り組み㊨	963
2．安心安全都市とよなかの創造	
①セフティメイト拡充と防犯ブザー配布	2,220
②児童虐待防止対策の充実・強化	593
③耐震改修促進計画策定㊨	607
④公共施設耐震診断㊨	16,387
⑤緊急浸水対策等の管渠築造事業	157,502
⑥庄内・豊南町地区密集市街地整備促進計画の策定㊨	750
⑦神崎川公園の整備に向けた検討㊨	1,520
⑧自主防災組織の拡充及び育成支援 小学校区単位の「仮称・防災連絡会」の設置に向けた支援	667
⑨建築物の構造計算書の適合性判定㊨	183
⑩メタボリックシンドロームにかかる普及啓発㊨	931
⑪食育推進基本計画の検討㊨	576
⑫障害者通所施設への運営安定化支援㊨	1,530
⑬上下水道部局統合及び企業会計導入㊨	3,420
3．市民自治都市とよなかの創造	
①コミュニティ基本方針（仮称）の策定㊨	410
②人権についての市民意識調査の実施㊨	360
4．活力都市とよなかの創造	
①千里文化センター「コラボ」の整備㊨	176,647
②重点整備地区の交通バリアフリー整備	30,556
③景観行政団体への移行と景観計画策定㊨	486
④旧市立豊中病院跡地利用の事業化㊨	20,000
⑤空港周辺移転跡地利用計画の策定	200
⑥中小企業ものづくり支援	441
⑦無料職業紹介の推進	582
⑧雇用施策推進プランの作成㊨	126
5．環境共生都市とよなかの創造	
①地域省エネルギービジョンの推進	529
②公園整備	132,449
③地球温暖化防止推進地域計画の策定及び推進	212
6．自主自律都市とよなかの創造	
①自治基本条例に基づく取り組みの推進㊨	57
②新・行財政改革大綱・同プランの策定㊨	300
③戸籍の電算化㊨	3,900
④「評価のあり方検討市民会議（仮称）」の設置運営㊨	78
⑤財産管理システムの開発㊨	1,488
⑥地上デジタル放送移行に伴う電波障害対策㊨	3,000

池田市　骨格

平成19年度当初予算総額　76, 350百万円　対前年度比　3.8%増
平成19年度一般会計予算　34, 415百万円　対前年度比　2.3%増

Ⅰ．予算の特色

平成17年度一般会計決算では、５年連続の黒字となったものの、経常収支比率は12年連続で100％を超え、また、団塊の世代の退職が平成19年度・20年度にピークを迎え退職金の増嵩が見込まれており、硬直化した財政構造から脱却できない状況が続いている。本年度は骨格予算であるが、現在作業を進めている第３期実施計画の策定を念頭に、事務事業評価により事業の必要性や市民ニーズを総点検し、限られた予算を重点配分し、予算編成を行った。

Ⅱ．施策体系別主要事業一覧

	予算額 単位万円
1．いきいきと輝く　にぎわいのあるまち	
①住民情報システム管理（レガシー改革）事業	14, 635
②花と緑いっぱい細河いらっしゃい祭開催事業㊨	100
③井口堂天神線歩道改良事業㊨	1, 500
④菅原新町線街路整備事業㊨	5, 500
⑤本町通等活性化事業資金融資事業	162
⑥新婚世帯向け賃貸住宅斡旋登録事業	40
2．ふれあいで築く　いきがいのあるまち	
①子育て支援センター運営事業	837
②つどいの広場事業	1, 000
③こども園管理運営事業	2, 410
④保健福祉総合センター建設事業	－
⑤児童エンゼル医療費助成事業	3, 493
⑥エンゼル補助金交付事業	123
⑦エンゼル祝金交付事業	550
⑧送迎保育ステーション事業	2, 593
⑨ハッピーバース支援事業	526
⑩子どもの居場所づくり推進事業㊨	690
⑪休日保育利用事業	125
3．のびのび暮らす　うるおいのあるまち	
①民営駐車場防犯灯設置支援事業	200
②新エネルギービジョン策定事業㊨	1, 040
③セーフティキーパー対策事業	102
④指定袋制実施事業	6, 135
⑤レジ袋削減等推進事業㊨	100
⑥既存民間建築物耐震診断補助事業	240
⑦交通安全啓発事業	670
⑧環境教育推進事業㊨	30
⑨自主防災組織育成事業	179
4.個性をいかした　みりょくのあるまち	
①まちかどギャラリー事業	83
②落語みゅーじあむ事業	769
③まちなみ保存補助事業	1, 000
④公益活動促進基金積立事業	226
5．にんげんを育む　やさしさのあるまち	
①教育タウンミーティング事業㊨	6
②五月丘小学校耐震補強及び大規模改造事業	35, 350
③１／２成人式開催事業	100
④「教育のまち池田」特区事業	8, 864
⑤教育問題懇話会開催事業	20
⑥卓球のまちづくり事業	198
6．行財政を確立し　未来につなぐまち	
①保育所給食業務委託事業	3, 890
②みんなでつくるまち推進会議運営事業	81
③行財政システム改革プランへの取組	－
④人事評価システムの試行	－

箕面市

平成19年度当初予算総額　180,495百万円　対前年度比　16.1%増
平成19年度一般会計予算　38,410百万円　対前年度比　1.0%減

Ⅰ．予算の特色

特に力点を置いた重要施策は次の５点。

1．安全・安心都市みのおの実現
地震対策として、民間建築物の耐震診断費補助を実施し、市内の建築物の耐震化率向上を目指す。

2．生涯学習都市みのおの実現
市内公共施設の利用者の利便性を高めるため、インターネットを利用した公共施設予約システム（公共施設12館）を導入する。

3．環境都市みのおの実現
市民、事業者、行政がそれぞれの役割に応じた景観保全に向けた取り組みを進める。

4．子育て支援都市みのおの実現
市立保育所の一部民営化と併せて市立保育所の定員増や延長保育などを行っていく。

5．小さな地方政府の実現
市民と行政との役割分担の見直しを図り、業務の外部委託の検討・促進や業務の再構築作業を進め、少人数による行政運営が可能となるよう、取り組みに力を入れていく。

Ⅱ．施策体系別主要事業一覧

	予算額 単位万円
＜安心して暮らせるまちづくり＞	
1．保健・医療・福祉施策の総合的推進	
①保健事業（健康診査・健康手帳）	57,756
②後期高齢者医療広域連合運営事業㊨	2,256
③母子保健事業	3,444
④「（仮称）子ども家庭相談室」の設置㊨	―
⑤障害者計画管理事業	418
⑥市立病院医療機器の整備	4,500
⑦医療保健センター医療機器整備事業	3,264
2．生活環境の整備と保全	
①公営住宅等供給・管理方針検討事業	405
②公園維持補修事業	8,331
③民間建築物アスベスト対策事業㊨	62
④環境クリーンセンター改修等事業	28,065
3．安全の確保	
①民間建築物耐震診断助成事業	485
②住宅・建築物耐震改修促進計画策定事業㊨	1,172
③防災行政無線整備事業	5,000
④災害時における要援護者の支援対策	―
⑤警防資機材整備事業㊨	307
⑥住宅防火対策推進事業	23
＜いきいきと暮らせるまちづくり＞	
1．文化の振興と教育・学習環境の充実	
①老人いこいの家管理運営事業㊨	1,893
②ヒューマンコミュニティみのお推進事業	24
③男女協働参画計画推進事業	36
④女性市民支援事業	232
⑤施設耐震補強事業（小・中学校）	13,206
⑥体育施設整備事業（小・中学校）	12,787
⑦学校給食設備充実事業	1,587
⑧特別支援教育推進事業	153
⑨小中一貫校整備事業㊨	15,611
⑩次期公共施設予約システム構築事業㊨	2,348
2．自然環境の保全	
①都市景観形成事業	468
②環境政策推進事業	201
③ごみ排出特定地区衛生美化促進事業㊨	74
④（仮称）環境美化条例制定検討事業㊨	50
3．産業の活性化	
①中心市街地振興事業	1,299
②（仮称）箕面駅周辺整備基本計画の実現㊨	―
③桜井駅前地区再整備計画	29
＜暮らしを支えるまちづくり＞	
1.秩序ある市街地の形成	
①都市計画推進事業	339
②国際文化公園都市建設推進事業	362
③水と緑の健康都市建設推進事業	152
④北大阪急行線延伸構想推進事業	221
⑤市内公共交通整備事業	212
2．多様な市民活動の推進	
①住民情報システム再構築事業	43,640
②戸籍電算化事業	6,089
③市営葬儀事務事業	5,089
④選挙講座開催事業㊨	60
⑤「箕面市市民の声取扱要綱」の運用㊨	―
⑥次期総合計画策定事業㊨	704

豊 能 町

暫定

平成19年度当初予算総額　6,103百万円　対前年度比　58.1%減
平成19年度一般会計予算　1,744百万円　対前年度比　77.4%減

Ⅰ．予算の特色

暫定予算のため、住民生活等に支障をきたさないよう、義務的・経常的な経費（４月から６月分の３か月分）を計上することとした。

Ⅱ．施策体系別主要事業一覧

	予算額 単位万円
①豊能郡環境施設組合負担金事業	6,310
②猪名川上流広域ごみ処理施設組合負担金	288
③町道等維持補修事業	604
④道路舗装事業	830
⑤公園・緑地整備事業	79
⑥野生鹿、猪等農林業被害防止事業	83
⑦オンリーワン・スクール事業	138
⑧不登校等支援事業	148
⑨精神障害者相談支援事業	271
⑩大阪府後期高齢者医療広域連合負担金	156

能　勢　町

平成19年度当初予算総額　9,147百万円　対前年度比　11.6%減
平成19年度一般会計予算　3,905百万円　対前年度比　10.6%減

Ⅰ．予算の特色

平成19年度当初予算については、平成17年３月に策定した「能勢町自立経営プラン」及び「平成19年度当初予算編成に向けた基本方針（能勢町版骨太の方針）」のもと、将来に持続していく「まちづくり」という観点から、「与えられた資源」のなかで「自主・自立」し、かつ、「能勢町」を後世につなげていくということに主眼に、「あるお金で予算を組む」という方針により全事務事業にわたり更なる見直しをはかり、かつ、事業の取捨選択の上での編成を行なったものである。

これにより、一般会計予算額は、平成３年度以来16年ぶりに40億円を下回ることとなり、ピーク時と比較すると18億円程度の縮小となったが、本町の主要課題である、「し尿処理施設」や「ごみ処理施設」の建設の推進にあわせ、「住民との協働の推進」を目的とした「自治区協働事業交付金」の創設、乳幼児医療助成対象年齢の引上げや町有施設等の整備による次世代育成（子育て支援）対策事業の拡充及び産業振興施策として町内農産物の直販施設である能勢観光物産センターの拡張整備事業などに重点的に財源を配分したものである。

Ⅱ．施策体系別主要事業一覧

	予算額 単位万円
1．能勢の美しい景観と環境の育成	
①し尿処理施設建設事業	1,000
②公共下水道事業	24,625
③農業集落排水事業	11,921
④豊能郡環境施設組合負担金事業	16,924
⑤猪名川上流広域ごみ処理施設組合負担金事業（広域ごみ処理施設建設）	2,968
⑥環境基金事業	660
⑦農地・水・環境保全向上対策事業㊨	600
⑧森林整備・松くい虫防除事業	804
⑨防災まちづくり事業	813
⑩土砂災害情報整備事業	800
⑪町道整備事業	4,000
⑫町道維持原材料支給	500
2．人材の育成と能勢文化の創造	
①浄るりシアター自主事業	1,000
②文化芸術による創造のまち事業	1,500
③公立文化施設活性化支援事業㊨	60
④浄るり公演事業（後継者育成）	180
⑤小中学校ＡＥＤ設置事業㊨	176
⑥小中高連携事業・中高一貫教育	286
⑦外国人教師招致事業（小・中学校）	252
⑧不登校支援対策	219
⑨学校安全対策事業	1,302
⑩学校施設耐震化促進事業㊨	551
⑪岐尼小学校施設改修事業㊨	561
⑫天王小学校校舎改修事業㊨	110
⑬学校遊具改修事業	151
⑭西中学校プール改修事業㊨	881

	予算額 単位万円
3．ふれあいと生きがいのある地域づくり	
①身体障害者福祉事業	13,048
②第２次障害者計画策定事業㊨	308
③老人福祉事業	1,384
④乳幼児医療助成事業（拡充）	1,295
⑤次世代育成対策（子育て支援）事業（拡充）	705
⑥児童福祉施設（保育所）運営	6,584
⑦子育て支援センター運営	294
⑧学童保育事業（放課後児童クラブ）	309
⑨私立幼稚園就園関係助成・補助	3,424
⑩後期高齢者医療広域連合負担金	531
⑪コミュニティソーシャルワーカー配置促進㊨	25
⑫豊能圏域医療対策運営	68
4．自然を活かした個性ある産業の育成	
①観光物産センター拡張整備事業㊨	271
②獣害対策事業	382
③経営体育成促進事業	130
④経営体育成基盤整備事業	536
⑤団体営ほ場整備事業換地業務	5,027
⑥観光振興事業・観光案内所運営	219
⑦土地利用計画調査事業	292
⑧商工支援事業	515
⑨町民カーニバル負担金事業	350
5．計画の推進に向けて	
①まちづくり計画検討	32
②広報「のせ」「声の広報」発行	677
③住民自治推進支援事業・協働事業交付金㊨	500
④総合行政システム管理運用	6,435
⑤職員研修事業	146

三 島 地 域

高槻市

■面積

行政区域面積	105.31㎢
市街化区域面積	3,329ha

■人口動態

人口	351,803人
世帯数	137,755世帯
人口密度	3,341人／㎢
人口伸率	△1.6%
高齢化率	19.0%

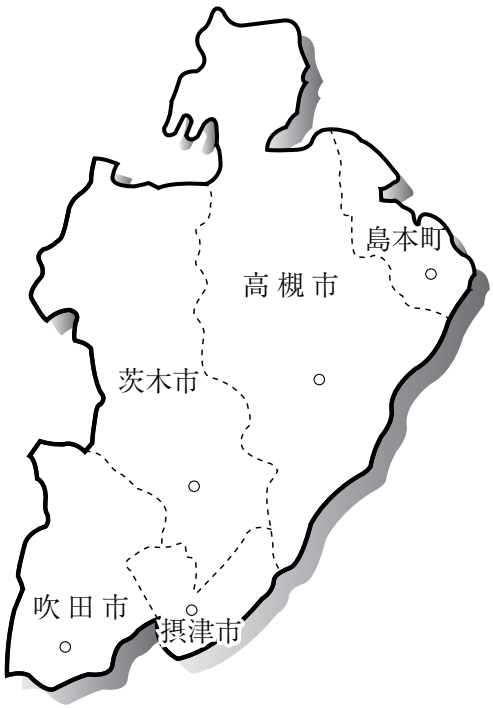
島本町

■面積

行政区域面積	16.78㎢
市街化区域面積	337ha

■人口動態

人口	29,052人
世帯数	10,867世帯
人口密度	1,731人／㎢
人口伸率	△3.6%
高齢化率	16.9%



茨木市

■面積

行政区域面積	76.52㎢
市街化区域面積	3,311ha

■人口動態

人口	267,961人
世帯数	105,782世帯
人口密度	3,502人／㎢
人口伸率	2.8%
高齢化率	15.5%

吹田市

■面積

行政区域面積	36.11㎢
市街化区域面積	3,611ha

■人口動態

人口	353,885人
世帯数	149,525世帯
人口密度	9,800人／㎢
人口伸率	1.7%
高齢化率	16.1%

摂津市

■面積

行政区域面積	14.87㎢
市街化区域面積	1,349ha

■人口動態

人口	85,009人
世帯数	34,048世帯
人口密度	5,717人／㎢
人口伸率	△0.1%
高齢化率	14.9%

吹田市　骨格

平成19年度当初予算総額　210,687百万円　対前年度比　2.8%増
平成19年度一般会計予算　102,333百万円　対前年度比　2.7%増

Ⅰ．予算の特色

今年度市長選のため、骨格予算としているものの団塊世代の退職が始まり、退職者数の急増に伴う人件費の増や、廃棄物処理施設建設工事や東部拠点整備事業を始めとするビッグプロジェクトが動き出したことによる投資的経費の増等により、通常予算であった前年度より2.7%の伸びを示している。一方、歳入では全体のおよそ6割を占める市税収入が、昨今の景気の高揚感を背景に前年度比較で4%の増と見込んでいる。その他の財源では、所得譲与税の廃止により約16億円の減、また定率減税の廃止により地方特例交付金と減税補てん債の計21億円の大幅な減収を見込み、市税の増を打ち消す以上の状態となり、収支均衡を図るため基金の大幅な取崩しと臨時財政対策債の発行を余儀なくされる非常に厳しい状態が続いている。このような厳しい財政状況にあっても、「福祉・健康」「少子化対策」の施策はもとより、「安心・安全」「都市創造」等に関する施策に重点的に予算を配分した。

Ⅱ．施策体系別主要事業一覧

	予算額 単位万円
1．すべての人がいきいき輝くまちづくり	
①市政モニタリング調査事業㊨	91
2．市民自治が育む自立のまちづくり	
①市民協働学習センター事業	257
②旧南竹見台小学校多目的施設改修事業	13,989
3．健康で安心して暮らせるまちづくり	
①後期高齢者医療制度準備事業	15,253
②障害福祉ｻｰﾋﾞｽ等利用者負担軽減制度	3,786
③子育て広場助成事業	1,663
④知的障害児・肢体不自由児通園施設保護者負担金制度の拡充	258
⑤（仮称）療育センター建設事業	81,530
⑥骨粗鬆症検診事業の拡充	192
4．個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	
①山田南小学校増築事業	83,608
②文化会館改修事業	12,762
③地区公民館改修事業	365
④（仮称）中西家住宅保存活用事業	513
5．環境を守り育てるまちづくり	
①南工場跡地対策事業	59,053
②やすらぎ苑整備事業	83,489
③廃棄物処理施設整備事業	227,656
6．安全で魅力的なまちづくり	
①地域防犯推進事業	324
②コミュニティバス運行事業	6,901
③交通バリアフリー化施設整備補助事業	20,789
④東部拠点整備事業	4,376
⑤千里山駅周辺整備事業	828
⑥千里南地区センター再整備事業	1,345
⑦西吹田駅前線立体交差事業	854
⑧南吹田地域まちづくり検討調査事業	450
⑨ＪＲ吹田駅南側駅前広場再整備	14,438
7．活力あふれにぎわいのあるまちづくり	
①商店街等魅力向上促進事業	900

高槻市

骨格

平成19年度当初予算総額　208,030百万円　対前年度比　2.4%増
平成19年度一般会計予算　92,972百万円　対前年度比　1.7%減

Ⅰ．予算の特色

平成19年度当初予算編成は、４月に市長選挙が行われることから骨格予算とした。歳出においては、経常的な経費は年間所見込額を計上し、また政策的な経費については、平成18年度以前に決定している継続費、債務負担行為に基づく事業とともに、実施時期等の関連から年度当初に計上すべき事業について所要経費を計上した。歳入においては、原則、年間予算とした。その他、特別会計及び企業会計については、事業目的が確定していることから年間予算とした。

Ⅱ．施策体系別主要事業一覧

	予算額 単位万円
1．心がかよう共につくるまちづくり	
①（仮称）庄所コミュニティセンター整備	13,297
2．やさしさとやすらぎのまちづくり	
①障害者自立支援事業	272,202
②児童手当給付	250,625
③社会福祉施設整備補助	29,643
④母子家庭等就労自立支援㊨	1,033
⑤子育て総合支援センター運営㊨	3,291
⑥（仮称）庄所つどいの広場整備	6,007
⑦医療費助成	174,947
⑧がん検診	28,580
⑨後期高齢者医療事務	18,547
⑩阿武野、奥坂学童保育室整備	6,744
⑪介護予防事業、包括支援事業等地域支援事業	37,397
⑫福祉資金貸付	7,830
3．ひとが輝く育みのまちづくり	
①少人数授業事業	6,261
②私立幼稚園保育料の助成額の拡充	8,908
③就労支援型預かり保育の実施（２園）㊨	263
4．調和のとれた都市環境のまちづくり	
①ＪＲ摂津富田駅、阪急富田駅エレベーター等設置補助	19,948
②大蔵司橋の架け替え	15,500
③古曽部中央公園施設・体育館整備	98,537
④（仮称）庄所公園整備	3,500
⑤市バスＩＣカードシステム導入㊨	24,585
⑥水道施設耐震補強等整備	44,000
5．安全で快適なまちづくり	
①自転車用安全啓発カバーの作成	300
②コミュニティセンター、公民館へのＡＥＤ設置	882
③市営川西住宅の建替え	89,649
④民間建築物に対する耐震診断費用の助成	1,665
⑤小、中学校体育館耐震改修工事等	77,000
⑥学校園安全推進事業（小学校有人警備、小学校１年生への防犯ブザーの配布）	6,639
6．にぎわいと活力のあるまちづくり	
①有害鳥獣被害防除事業	1,400
②市民林業士養成講座開催	43
③作業道開設	425
④ワークサポートたかつき（高槻市地域職業相談室）運営㊨	46
7．計画の推進に当たって	
①広報の充実	13,141
②広聴・市民相談事業	1,246
③外部監査事業	1,600

茨木市

平成19年度当初予算総額　150,846百万円　対前年度比　0.7%減
平成19年度一般会計予算　74,580百万円　対前年度比　0.0%増

Ⅰ．予算の特色

“財政の健全性を確保しつつ、時代の変化に対応した施策の推進を図る。”
　景気回復や税制改正等により増加する税等の一般財源を、市民の目線に立って、少子化対策の充実、子どものいじめ・不登校・安全対策、ごみの減量化と環境対策、耐震化の推進、都市基盤整備の推進など、時代の変化に対応した施策に重点的に配分するとともに、将来の財政の健全性の確保に向け、土地開発公社保有資産の計画的な買戻しや市債発行の抑制、将来に備えた建設基金の充実などを行った。

Ⅱ．施策体系別主要事業一覧

予算額
単位万円

1．行財政改革を推進し、時代の変化に対応できる、健全な行財政運営を

①民間活力の導入に関する指針の策定㊨	315
②セカンドステージサポート事業の実施㊨	60

2．保健・医療・福祉を充実して、人権が尊重される都市づくりを

①食育推進基本計画の策定・講演会の実施㊨	746
②障害者自立支援法の円滑な運営に向けた改善策	11,535
③高齢者の緊急一時保護を実施㊨	27
④自殺防止の啓発㊨	90

3．地域経済を活性化し、商工業と農林業の振興を

①企業立地の支援㊨	4,988
②中小企業経営革新等の支援㊨	200
③観光カレンダーの配布㊨	566
④里山センターと里山の整備	2,718
⑤市民農園の整備㊨	5,173
⑥大阪府植樹祭の開催㊨	300

4．教育・文化やスポーツを振興して、活力に満ちた文化都市づくりを

①小学１年生への防犯ブザーの配付㊨	75
②子どもが自ら身を守る力の育成	473
③放課後子どもプランの検討㊨	74
④いじめ・不登校対策の充実	1,522
⑤小学校給食の委託化㊨	2,009
⑥中学校昼食提供（デリバリー方式）のモデル実施㊨	3,516
⑦小・中学校施設の耐震化	54,600
⑧小・中学校施設の整備	42,976
⑨彩都西小学校校舎の増築	3,240
⑩市民会館建て替え構想の策定㊨	600
⑪交響幻想曲「淀川」公演の実施㊨	745
⑫子ども伝統文化祭の実施㊨	94
⑬（仮称）南地域体育館の建設㊨	5,780

予算額
単位万円

5．次代をになう子どもたちへの施策を充実し、少子化対策の推進を

①乳幼児医療助成の拡大	61,257
②産前・産後ヘルパーの派遣㊨	231
③妊婦一般健康診査公費負担の拡充	4,384
④ぽっぽルームの土曜開所	318
⑤在宅子育て家庭支援保育士の配置㊨	1,675
⑥ブックスタート事業の実施㊨	467
⑦市立幼稚園での預かり保育の拡大	1,347
⑧親支援プログラム事業の実施㊨	51

6．住みよい生活環境をまもり、安全・安心な都市づくりを

①道路の新設・改良	129,981
②街路の整備	161,636
③建築物の適正な高さ制限に向けた調査㊨	1,000
④生活道路整備助成事業の実施㊨	1,000
⑤小川の親水整備㊨	4,800
⑥公共下水道の整備	193,600
⑦庁舎本館・南館のISO14001認証取得	564
⑧事業所における環境管理制度導入の促進㊨	490
⑨いばらき環境市民大学の開講㊨	25
⑩地域住民へのごみ減量の啓発推進㊨	1,734
⑪児童へのごみ減量の啓発推進	224
⑫事業所へのごみ減量の啓発推進	128
⑬３Ｒ推進事業所調査の実施㊨	245
⑭耐震改修促進計画の策定㊨	21,383
⑮耐震対策推進事業補助金の充実	560
⑯耐震性貯水槽の整備㊨	29,500
⑰高機能消防総合情報システムの整備	12,403
⑱住宅用火災警報器設置の啓発	294
⑲ＡＥＤ（自動体外式除細動器）の整備	1,077

摂津市

平成19年度当初予算総額　58, 480百万円　対前年度比　3.7%増
平成19年度一般会計予算　30, 528百万円　対前年度比　5.0%増

Ⅰ．予算の特色

平成19年度の一般会計当初予算では、景気の回復に加え、税源移譲や定率減税の廃止による市税の大幅な増加が見込まれているものの、扶助費の増や団塊世代の退職が始まったことによる退職手当の増により財源不足は解消できず、引き続き厳しい状況が続いている。そのような厳しい状況の中ではあるが、「長期財政基盤」の早期確立が、今後の市政運営の最重要課題であると認識し、将来の摂津市のために、次代を担う子どもたちのためにどうしても必要なこと、今実行に移さなくてはならないことを「未来への有効かつ効果的な投資」という形で実践すべく、「基盤整備」と「子ども」をテーマとして掲げ、重点的に予算配分を行った。

Ⅱ．施策体系別主要事業一覧

	予算額 単位万円
1．快適な都市機能	
①南千里丘まちづくり事業㊨	14, 618
②南千里丘土地区画整理事業㊨	7, 243
③コミュニティプラザ整備事業㊨	2, 668
④吹田操車場跡地利用検討事業	2, 114
2．健康な心と体	
①戦没者慰霊事業	65
②人権啓発推進事業	271
③せっつ女性プラン推進事業	50
④女性問題相談事業	234
⑤地域福祉活動拠点整備補助事業㊨	900
⑥ＪＲ千里丘駅・阪急正雀駅エレベーター設置補助事業	27, 318
⑦成年後見等開始審判申立事業	35
⑧権利擁護事業㊨	11
⑨障害者デイサービス等事業	1, 168
⑩民間保育所入所承諾事業	130, 232
⑪学童保育室施設整備事業	2, 452
⑫乳幼児医療費助成事業	15, 519
⑬第１児童センター園庭拡大事業㊨	80
⑭妊産婦・乳幼児訪問指導事業	295
3．文化と教育	
①生涯学習フェスティバル開催事業㊨	50
②私立幼稚園園児保護者補助事業	2, 568
③小学校英語活動推進事業㊨	60
④環境教育推進モデル地域事業㊨	30
⑤特別支援教育推進事業㊨	30
⑥小学校耐震補強等事業	489
⑦小学校校舎整備事業	41, 511
⑧こども１１０番の家事業	73
4．産業と消費	
①農業水路整備事業	1, 256
②地域就労支援事業	174
③消費生活相談ルーム事業	693
5．快適な都市環境	
①市営住宅建替え事業㊨	5, 860
②フォルテ摂津自転車駐車場管理事業	2, 972
③千里丘自転車・自動車駐車場整備事業㊨	500
④防犯推進事業	333
⑤犯罪被害者等支援事業㊨	29
⑥防災資機材及び備蓄用品整備事業	421
⑦震災対策推進事業	725
⑧斎場補修事業	1, 489
⑨千里丘三島線道路改良事業㊨	500
⑩千里丘４５号線道路改良事業㊨	1, 000
⑪千里丘南千里丘線歩道拡幅事業㊨	300
⑫ポンプ場管理事業	6, 419
6．自立と協働	
①ホームページ事業	1, 033
②基幹業務オープンシステム事業㊨	3, 995
③小学校跡地活用検討事業㊨	300
④地域コミュニティセンター構想策定事業㊨	30

島 本 町

平成19年度当初予算総額　19,241百万円　対前年度比　1.6%増
平成19年度一般会計予算　10,384百万円　対前年度比　5.6%減

Ⅰ．予算の特色

平成19年度の歳入は、町の自主財源である町税が、税源移譲により大幅な増加が見込まれるが、一方、所得譲与税の廃止、減税補てん債や地方特例交付金（減収補てん分）が廃止となったこと、さらに、地方交付税の減額などにより、主な一般財源収入は大幅な減額と見込まれる。一方歳出は、時代の変革期に対応すべく、第３次島本町総合計画に示された、まちづくりの６つの基本方針である『人間尊重』『自然環境の保全と都市環境の整備』『自律・創造・協働』『まちの基盤整備』『保健・医療・福祉』『教育・生涯学習』に基づき、施策を着実に推進すべく予算編成を行った。

Ⅱ．施策体系別主要事業一覧

	予算額 単位万円
1．人間尊重	
①人権啓発事業	502
②人権文化センター施設整備事業	2,270
③社会啓発事業	552
2．自然環境の保全と都市環境の整備	
①森林保全整備事業	572
②環境対策事業	898
③環境まちづくりセミナー実施事業㊨	87
④不法投棄ごみ防止パトロール事業	218
⑤住宅・建築物耐震化促進計画の策定㊨	700
⑥浸水対策事業	763
⑦自転車等駐車場整備計画策定事業	1,178
⑧防犯対策事業	1,364
3．自律・創造・協働	
①自治振興事業	758
4．まちの基盤整備	
①ＪＲ新駅設置事業	143,931
②桜井村踏切調査測量事業㊨	540
5．保健・医療・福祉	
①母子健康事業	1,327
②後期高齢者医療制度に係るシステム整備	6,263
③地域福祉推進事業	4,478
④福祉対策事業	2,893
⑤地域子育て支援事業	762
⑥母子自立支援事業	147
⑦年長者支援事業	1,047
⑧年長者在宅福祉事業	3,610
⑨障害者更正援護事業	7,174
⑩在宅障害者援護事業	10,664
6．教育・生涯学習	
①預かり保育事業㊨	295
②第二小学校既存校舎改造事業	4,993
③地域食材学校給食推進事業㊨	10
④放課後子ども教室の実施㊨	260
⑤英語特区事業	3,476
⑥地域教育の活性化	126
⑦青少年教育事業	385
⑧スポーツ振興事業	704
⑨歴史資料館管理事業	787

北河内地域

寝屋川市

■面積

行政区域面積	24.73㎢
市街化区域面積	2,100ha

■人口動態

人口	241,816人
世帯数	95,896世帯
人口密度	9,778人／㎢
人口伸率	△3.6%
高齢化率	17.3%

枚方市

■面積

行政区域面積	65.08㎢
市街化区域面積	4,137ha

■人口動態

人口	404,044人
世帯数	155,551世帯
人口密度	6,208人／㎢
人口伸率	0.4%
高齢化率	16.2%

交野市

■面積

行政区域面積	25.55㎢
市街化区域面積	916ha

■人口動態

人口	77,644人
世帯数	27,269世帯
人口密度	3,039人／㎢
人口伸率	0.9%
高齢化率	16.5%

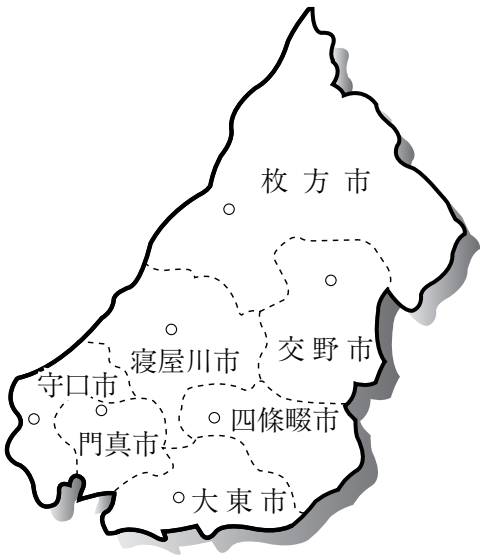
守口市

■面積

行政区域面積	12.73㎢
市街化区域面積	1,178ha

■人口動態

人口	147,465人
世帯数	62,928世帯
人口密度	11,584人／㎢
人口伸率	△3.2%
高齢化率	19.9%



門真市

■面積

行政区域面積	12.28㎢
市街化区域面積	1,186ha

■人口動態

人口	131,706人
世帯数	55,384世帯
人口密度	10,725人／㎢
人口伸率	△2.9%
高齢化率	17.6%

大東市

■面積

行政区域面積	18.27㎢
市街化区域面積	1,187ha

■人口動態

人口	126,504人
世帯数	49,082世帯
人口密度	6,924人／㎢
人口伸率	△1.9%
高齢化率	16.2%

四條畷市

■面積

行政区域面積	18.74㎢
市街化区域面積	590ha

■人口動態

人口	57,342人
世帯数	21,412世帯
人口密度	3,060人／㎢
人口伸率	4.0%
高齢化率	15.7%

守口市

平成19年度当初予算総額　98,455百万円　対前年度比　2.1％増
平成19年度一般会計予算　53,820百万円　対前年度比　1.5％増

Ⅰ．予算の特色

平成17年度から平成23年度を計画期間とした「財政危機対策指針」を策定し、事務事業の見直しや新たな歳入の確保に向け、鋭意取り組んでいる。このため、平成19年度の予算については、当指針に示す平成23年度までの収支にこだわり編成作業を進めた。平成19年度当初予算の総額は984億55百万円、うち一般会計予算は538億２千万円、対前年度比1.5％の増となっているが、借換え債約20億円、繰上充用金約32億円の計52億円を差し引くと、一般会計予算は1.5％の減となっている。新たな事業については、非常に限られた予算となっているが、市民の安全・安心を確保するための事業を基本に市民福祉の向上に努めることとした。主な施策としては、市民保健センターで実施している「成人歯科健診」の受診対象者の拡充、災害に強いまちづくりを目指し、住宅市街地総合整備事業の継続実施、災害時における地域の防災力の強化を図るための「自主防災組織」の結成促進や市民の防災知識の高揚策、小中学校の耐震・老朽化対策やアスベスト除去工事の他、ごみ減量・リサイクルの推進を図るため、その他プラスチックの分別収集の実施及び粗大ごみの有料化などを実施する。

Ⅱ．施策体系別主要事業一覧

	予算額 単位万円
1．健康で心ふれあう生きがいのあるまちづくり	
①歯科検診対象枠の拡大㊨	382
②保健予防の充実	10
③児童手当の拡充	15,707
④障害者福祉の充実	126
2．創造性をはぐくみ文化に親しむまち	
①小・中学校の耐震補強実施設計業務	1,319
②小・中学校の屋内運動場耐震補強工事	34,160
③小学校音楽室のアスベスト除去工事	749
④「もりぐち児童クラブ」の施設改修	3,700
⑤佐太天神紙本著色天神縁起絵巻の図録作成㊨	267
⑥文化センターの改修	3,144
⑦市民体育館の改修	2,441
3．花と緑と水辺のある快適な定住空間	
①住宅市街地総合整備事業	7,256
②都市計画道路八島大久保線整備の促進	10,419
③交通安全施設の整備	3,236
④（仮称）大日東第２公園の整備	1,644
⑤放置自転車禁止区域の見直し	90
⑥美化推進重点地区の指定（大日地区）	128
⑦下水道の整備	85,643
4．豊かな暮らしを支える安全なまち	
①自主防災組織の結成促進	70
②防災・洪水マップの作成・配付㊨	371
③簡易トイレの備蓄㊨	257
④地震ハザードマップの作成等㊨	452
⑤広域産業フェアへの参加支援	50
⑥クリーンセンターストックヤードの整備等	18,746
⑦ごみ減量・リサイクルの推進	5,526
⑧上水道の整備	78,840
5．市民参加の促進	
①（仮称）もりぐち市議会なるほどガイド作成㊨	54

枚方市

骨格

平成19年度当初予算総額　228,736百万円　対前年度比　0.0%増
平成19年度一般会計予算　107,700百万円　対前年度比　4.2%増

Ⅰ．予算の特色

①一般会計の予算規模は1,077億円（対前年度比43億円、4.2%増加）
　継続事業である２大プロジェクトで約48億円の増加、退職手当で約14億円の増加となったことなどから、予算総額が対前年度比で増加している。
②市税収入は定率減税廃止と税源移譲などにより約50億円の増加
③市制施行60周年記念事業を実施

Ⅱ．施策体系別主要事業一覧

	予算額 単位万円
1．人と自然が共生する環境保全のまち	
①第２清掃工場建設事業	672,549
②中宮浄水場排水処理施設更新事業	41,600
2．やすらぎのなか、世代をつないで住みつづけるまち	
①ため池耐震対策整備事業	48
②火葬場整備事業	204,967
③牧野駅周辺整備事業	718
④主要道路リフレッシュ整備事業	350
⑤枚方藤阪線整備事業	12,769
⑥楠葉中宮線整備事業	8,386
⑦岡本町１号線横断歩道橋設置事業	4,500
⑧道路拡幅・改良事業	3,200
3．魅力にあふれ、生き生きとしたまち	
①総合文化施設ＰＦＩ事業	16
②津田山の整備事業	450
③市制施行60周年記念全国七夕サミット開催事業	250
⑤歴史的景観保全事業	2,300
4．健康で心豊かな自立と共生のまち	
①市制施行60周年記念平和コンサート	150
②市民の健康に関する施策（食育）推進事業	162
5．ふれあい、学びあい、感動できるまち	
①市民との協働による「ふれあいルーム」開設事業	48
②枚方市英語教育推進事業	878
③学校園施設耐震補強事業	10,930
④一時・特定保育事業	4,130
6．みんなでつくる分権・市民参加のまち	
①ひらかた便利帳の発行（市制施行60周年記念版）	1,530

寝屋川市　骨格

平成19年度当初予算総額　137,259百万円　対前年度比　2.9%減
平成19年度一般会計予算　68,630百万円　対前年度比　6.5%減

Ⅰ．予算の特色

平成19年度予算は、骨格予算ではあるが、厳しい財政状況を念頭において、施策・事務事業の選択と集中を図るとともに、市民の視点に立ったまちづくりを基本として、最少の経費で最大の効果をあげることを目指した。

とりわけ、まちの将来を見据えた基盤整備として「寝屋川市駅東地区」「香里園駅東地区」の市街地再開発事業を引き続き推進するとともに、英語指導助手派遣事業の拡充をはじめ、次代を担う人づくりのための教育施策の充実に取り組むなど、元気でいきいき活動できるまちづくり、安全で安心してくらせるまちづくり、文化を創造し生きる力を育むまちづくり、くらしを支える活力あるまちづくりを推進し、さらなる市民サービスの向上につながる予算編成としたところである。

Ⅱ．施策体系別主要事業一覧

	予算額 単位万円
1．元気でいきいき活動できるまちづくり	
①「人権を考える市民のつどい」の開催	95
②女性の心の悩み相談（フェミニスト・カウンセリング）の実施	180
③マタニティマーク普及啓発事業㊨	28
④「公開すこやか長寿」（ＮＨＫとの共催事業）㊨	27
⑤認知症サポーター養成事業㊨	22
⑥地域介護・福祉空間等整備事業	3,000
⑦中央高齢者福祉センター改修事業㊨	180
⑧「（仮称）寝屋川市障害者長期計画（第２次計画）」策定事業㊨	382
⑨民営化保育所選定委員会及び事業者検討会議㊨	52
⑩母子家庭自立促進給付金㊨	471
⑪家庭支援推進保育所事業㊨	10
⑫障害児保育助成事業	540
⑬生活保護適正化事業	2,060
⑭後期高齢者医療保険事業㊨	13,957
2．安全で安心してくらせるまちづくり	
①寝屋南土地区画整理事業	6,028
②寝屋川市駅東地区市街地再開発事業	53,930
③香里園駅東地区市街地再開発事業	46,545
④耐震改修促進計画策定業務委託㊨	500
⑤構造計算適合性判定委託㊨	572
⑥京阪本線連続立体交差事業	487
⑦都市計画道路萱島堀溝線事業	28,906
⑧市道国守中央南北線事業	6,503
⑨大利公園整備事業	12,140
⑩自主防災組織整備事業	560
⑪防災情報充実強化事業	199
⑫木田小学校校庭貯留浸透施設設置工事	3,750
⑬焼却施設管理・整備事業	23,000
3．文化を創造し生きる力を育むまちづくり	
①小・中学校耐震補強事業	50,523
②学校安全緊急対策事業	5,433
③英語指導助手派遣事業	5,280
④英検受検料補助	209
⑤寝屋川市英語教育特区発表会㊨	340
⑥医療的ケア体制整備推進事業に伴う看護師の配置㊨	388
⑦問題を抱える子ども等の自立支援事業㊨	99
⑧子ども読書活動推進関連事業	572
⑨放課後子ども教室推進事業㊨	1,759
⑩池の里市民交流センター管理事業	2,457
⑪マスコットキャラクター普及促進事業	94
4．くらしを支える活力あるまちづくり	
①産業振興センター事業	695
②商品券発行等支援事業	980
③三市合同就職面接会	105
④市民と農の交流推進事業	103
⑤公募補助金交付事業	2,085
5．元気都市　寝屋川づくりを推進していくために	
①市民活動センター事業	583
②人口移動要因アンケート調査の実施㊨	76
③戸籍管理システム推進事業	4,181

大 東 市

平成19年度当初予算総額　73, 132百万円　対前年度比　1.1％減
平成19年度一般会計予算　38, 264百万円　対前年度比　3.4％増

Ⅰ．予算の特色

平成19年度予算編成方針では、本市のまちづくりを行っているのは市だけではなく、国や大阪府はもとより、数多くの市民、企業、学校等が関与しており、多様な主体が持つエネルギーと市行政のコラボレーションにより、事業展開する市勢が大切としている。

これにより、事業構築・事業執行においては「費用対効果が発揮されるような『連携』を実施」するとし、まちづくり手法の転換に力点を置くこととした。

また、事業分野では、更新期を迎えた施設の再整備、子育て支援・子どもの安全策、産業振興対策を強化し、都市の成熟に向けた取り組みをすすめることとした。

Ⅱ．施策体系別主要事業一覧

	予算額 単位万円
1．「互いに尊重し、健やかで、心安らかに暮らせるまち」に向かって	
①健康なまちづくり事業	600
②地域支援事業	13, 237
③河北養護老人ホーム移転関連事業	33, 619
④街かどデイハウス事業	2, 813
⑤障害者地域生活支援事業	16, 112
⑥グループホーム等コーディネーター設置事業㊨	312
⑦障害者保護費・障害者福祉作業所運営補助事業	5, 202
2．「多様な個性が結び合い、心の通う楽しいまち」に向かって	
①市民協働推進事業	128
②アドプト制度活用事業㊨	37
③国語力向上事業	5, 071
④子ども基本条例策定事業㊨	80
⑤学校体育館耐震補強事業㊨	245
⑥南郷中学校改築事業㊨	3, 836
⑦放課後子ども教室推進事業㊨	695
⑧乳幼児医療費	16, 290
3．「安定した暮らしを支える環境が整ったまち」に向かって	
①環境基本計画推進事業	108
②容器包装リサイクル分別収集事業㊨	26, 524
③駐車場・自転車駐車場整備事業	73, 619
④道路施設等改良事業㊨	9, 240
⑤南の子線改良事業	8, 292
（H19～20債務負担17, 462万円）	
⑥下水道台帳システム整備事業㊨	1, 900
（H19～22債務負担4, 000万円）	
⑦管渠築造新設事業	211, 925
（H19～20債務負担251, 713万円）	
⑧消防力等整備事業	3, 864
4．「個性が輝き、活力と魅力にあふれるまち」に向かって	
①住工調和モデル地区事業㊨	455
②新産業創出・創業支援事業㊨	2, 683
③中小企業経営支援事業㊨	966
④なみはや国体10周年記念事業㊨	170
5．基本計画を推進するにあたって	
①市民会館改修事業㊨	31, 900
②戸籍事務ＯＡ化事業	843
③公立保育所民営化事業㊨	478
④給食調理委託事業	24, 148

門 真 市

平成19年度当初予算総額　84,582百万円　対前年度比　3.9%増
平成19年度一般会計予算　45,502百万円　対前年度比　1.0%増

Ⅰ．予算の特色

本市の財政状況は、経常収支比率102.0%と財政構造が一層硬直化している状態であり、依然として基金依存体質から抜けきれない現状である。このように厳しくかつ苦しい状況において、経常経費の一層の削減や一部事業の見直し等により、まちづくりや市民福祉の向上、教育環境の改善など、市民サービスを維持すべく予算編成を行った。

本年度は、旧門真南高校跡地にて、市民の交流と活動及びスポーツ活動の場等を提供するため、門真市民プラザの運営を開始する。また、教育の再生を図るため、「わがまちが誇れる学校づくり」特区により、小・中学校の国語力と英語のコミュニケーション能力の育成に努める。さらに、「魅力あるまちの顔づくり」の一環として、市役所周辺を含むまちづくり基本構想を策定するとともに、経済の活性化と産業のあり方や振興の方向性を示す指針を作成するための産業振興ビジョン基礎調査を実施するなどにより、「財政の再建」「市政の再生」の実現をめざす。

Ⅱ．施策体系別主要事業一覧

	予算額 単位万円
1．ゆとりとうるおいのある市民生活を創造する都市	
①コミュニティソーシャルワーカー配置事業	1,160
②障害者相談支援センター事業㊨	1,368
③障害者日中一時支援事業㊨	1,458
④放課後児童クラブ運営等事業	14,145
⑤つどいの広場運営事業㊨	699
⑥母子家庭高等技能訓練促進事業㊨	124
⑦民間保育園分園設置事業	6,413
⑧市立保育所民営化推進事業	68
⑨男女共同参画施策推進事業	92
2．あたたかいふれあいのある生活文化を創造する都市	
①「わがまちが誇れる学校づくり」特区事業㊨	2,216
②心のケア・特別支援教育事業㊨	141
③小学校校舎等大規模改造事業	16,800
④小学校空調設備整備事業	4,160
⑤教育センター運営事業㊨	647
⑥学校給食棟改修事業㊨	3,737
⑦生涯学習センター運営事業㊨	7,078
⑧体育館・グラウンド運営事業㊨	425
⑨図書館分館運営事業㊨	898
⑩門真市学校適正配置審議会（第３次）設置事業㊨	141
⑪幼児教育振興検討委員会事業㊨	90
3．快適で便利な都市生活を創造する都市	
①交通バリアフリー化設備整備事業㊨	3,333
②四宮土地区画整理事業	9,280
③住宅市街地総合整備事業	64,662
④第12次住居表示整備事業	1,311
⑤幸福町・中町まちづくり基本構想策定事業㊨	320
⑥耐震改修促進計画策定事業㊨	624
⑦官民境界先行型地籍調査事業㊨	720
⑧第３次水道施設等整備事業	32,922
⑨公共下水道整備事業	470,000
⑩親水空間整備事業㊨	500
⑪リサイクルプラザ運営委託事業	1,775
4．安全な市民生活と活力をはぐくむ産業を創造する都市	
①自主防災組織活動事業㊨	117
②産業振興ビジョン基礎調査事業㊨	100
③失業者等労働問題・生活再建相談事業	269
④地域就労支援事業	547
5．まちづくり基本目標の実現をめざす行財政運営	
①地域通貨制度調査研究事業	200
②行政評価システム導入事業	488
③戸籍総合システム運用事業	7,144

四條畷市

平成19年度当初予算総額　29,894百万円　対前年度比　2.0%増
平成19年度一般会計予算　16,122百万円　対前年度比　0.8%減

Ⅰ．予算の特色

平成19年度の予算としては、第５次総合計画に基づいた取組みである市民・行政との協働によるまちづくりの展開や市民の皆さまが快適で安心・安全に生活できるような施策の実施などに重点をおき、編成した。

とりわけ、快適で安心・安全なまちづくりへの取組みについては、避難場所に指定している市内小中学校屋内運動場の耐震診断の実施や自主防災組織に対して資機材を配付し、地域の防災力を高めることとしている。

また、子育て家庭に対する家庭訪問事業の実施及び虐待を含む児童家庭相談体制の充実を図ることとしている。

さらに、家庭から排出される廃プラスチック類の分別収集を開始し、ごみの減量化を図ることとしている。

Ⅱ．施策体系別主要事業一覧

	予算額 単位万円
1．	
①文書浄書印刷逓送事務	1,719
②戸籍事務	1,426
2．	
①母子福祉事務	347
②乳幼児医療費助成事務	4,024
③後期高齢者医療事務㊨	1,670
④身体障害者等在宅措置事務	79
⑤地域生活支援事務	785
⑥障害者計画策定事務	173
⑦保育の実施事務	625
⑧子育て総合支援センター事務	113
3．	
①ごみ減量化・再資源化推進事務	65
②商業振興補助事務	250
4．	
①耐震診断促進事務	400
②砂地区まちづくり支援事務	35
5．	
①救急活動事務	212
②消防団運営事務	235
③地域防災対策推進事務	173
④防災体制事務	237
6．	
①小学校管理事務	209
②中学校管理事務	209
③社会教育活動推進事務	600
④文化活動活性化事務	30
⑤放課後子ども教室推進事務㊨	140
⑥文化財調査事務	0
⑦ブックスタート関係事務㊨	62

交 野 市

平成19年度当初予算総額　42,475百万円　対前年度比　10.4%増
平成19年度一般会計予算　24,655百万円　対前年度比　15.3%増

Ⅰ．予算の特色

平成19年度予算要求にあたっては、18年度当初予算額の一般財源ベースの10%削減を基本として、課ごとに枠配した額を上限として各部の長が査定し、部単位での要求することとした。

臨時的経費のうち、特に重要と判断するものについては別予算とし、緊急性・必要性及び投資効果を検討し、特定財源の確保できるものを優先的に要求し、政策的経費と判断する要求について別に要求することとした。

Ⅱ．施策体系別主要事業一覧

	予算額 単位万円
1．自然を守り環境と共生するまちづくり	
①交野山森林公園の活用と維持管理	1,210
②剪定枝、伐木樹木の堆肥化	550
③環境マネジメントシステムの構築㊨	166
④（仮称）北河内広域リサイクル共同処理事業	2,269
⑤廃プラ実施地元説明会及びモデル事業費㊨	430
⑥ごみの出し方マニュアル及び廃プラパンフの配布㊨	300
⑦「花と緑のボランティア育成講座」	121
2．快適で安心して暮らせるまちづくり	
①耐震改修促進計画等の作成㊨	600
②星田新池改修事業負担金㊨	2,362
③私部郡津線新設改良工事	2,120
④星田私市線道路改良工事	2,000
⑤観光振興事業	52
3．健やかで、支えあい、ふれあいに満ちたまちづくり	
①個別市民健診事業	13,997
②個別予防接種事業	7,308
③母子保健事業	3,328
④高度救命救急負担金	160
⑤地域子育て支援センター新設㊨	2,100
⑥ショートステイ・トワイライト事業	26
⑦ファミリーサポートセンター事業	216
⑧つどいのひろば事業	201
⑨乳幼児医療費助成	11,648
⑩発達障害者巡回相談	133
⑪育児支援家庭訪問事業	323
⑫セーフティーネット支援対策等事業	583
⑬特定健診、特定保健指導に係る実施計画の策定㊨	350
4．育ち、学び生きがいのあふれるまちづくり	
①小学校英語活動指導者派遣事業	228
②学校耐震二次診断	1,541
③放課後子ども教室の開設㊨	94
5．人と文化が和むまちづくり	
①平和と人権を守る宣言都市の推進	57
②ＮＰＯ法人交野国際交流協会の支援	0
③文化遺産の維持保全と普及啓発	1,656
6．市民とともに活力あふれるまちづくり	
①まちづくりワークショップ事業㊨	23
②パブリックコメント制度の実施	0
③基幹系システム業務最適化計画策定委託㊨	315
④施設予約管理システム	299

大　阪　市

大阪市

■面積

行政区域面積	222.11㎢
市街化区域面積	21,145ha

■人口動態

人　口	2,628,811人
世帯数	1,245,012世帯
人口密度	11,836人／㎢
人口伸率	1.2%
高齢化率	20.1%

大 阪 市

平成19年度当初予算総額　4,042,404百万円　対前年度比　2.0%減
平成19年度一般会計予算　1,626,178百万円　対前年度比　1.6%減

Ⅰ．予算の特色

地方分権の推進に伴い、個性と創造性を発揮して、さらなる市民福祉の向上や次世代に誇れる都市の確立をめざすことが求められていることから、「持続可能な都市づくり」という視点に立って市政改革を断行し、行財政運営の効率化をはかるとともに、「負の遺産」の処理についても着実に取り組みながら、市民とともに、大阪市という都市全体の活性化につながる、新しい発想に立った戦略による都市の創造をめざすこととした。予算編成においては、職員数の削減や給与構造改革等の取り組みはもとより、真に必要なものを厳しく精査するとともに、創造都市戦略の推進や、こども・青少年の健全育成の取り組みと安心して暮らせる地域づくりをめざした施策への選択と集中をはかることとした。

これにより、大阪が持つ都市の潜在力を引き出し、内外から多くの人・もの・情報が集まり、新しい文化や産業を生み出す活力と魅力に満ちた「創造都市大阪」をめざす。

Ⅱ．施策体系別主要事業一覧

予算額
単位万円

Ⅰ．市民から信頼され、新たな活力を創出するまちに
(2,406,700)

Ⅱ．人がいきいきと輝き、ゆとりと豊かさを実感できるまちに

1．安全で安心できる、みんなで支えあう大阪
(91,752,200)

①こども・青少年のための施策
②高齢者のための施策
③障害者のための施策
④ホームレス対策と福祉活動の支援など
⑤保険・医療の充実
⑥安全で安心できるまちづくり
⑦防災体制の確立
⑧都市耐震化の推進
⑨治水、浸水対策
⑩消防力の充実

2．快適で住みよい、魅力的な環境先進都市大阪
(16,724,200)

①水の都大阪の再生と都市景観の形成
②花と緑豊かなまちづくり
③快適で便利な住環境づくり
④ひとにやさしいまちづくりの推進
⑤快適な都市環境づくり
⑥循環型社会の構築

予算額
単位万円

Ⅲ．新しい文化や産業を創造し、活力と魅力あふれるまちに

1．人々が集い新産業が生まれる、活力ある大阪
(22,874,800)

①都市再生・プロモーションの推進
②新産業の創出支援
③中小企業の活性化と消費生活の充実
④観光集客力の向上
⑤雇用の安定と創出
⑥まちの再開発と区画整理
⑦臨海部のまちづくり
⑧都市交通網の整備
⑨道路・橋梁の整備と駐車対策
⑩上水道の整備

2．人が輝き新しい文化を生む、世界に貢献する大阪
(5,963,900)

①学校教育の充実
②文化の振興
③スポーツの振興
④生涯学習と女性のための施策
⑤市民との協働と区政の充実
⑥人権施策の推進
⑦国際交流・協力の推進

中河内地域

東大阪市

■面積

行政区域面積	61.81㎢
市街化区域面積	4,981ha

■人口動態

人口	513,821人
世帯数	212,072世帯
人口密度	8,313人／㎢
人口伸率	△0.2%
高齢化率	18.4%

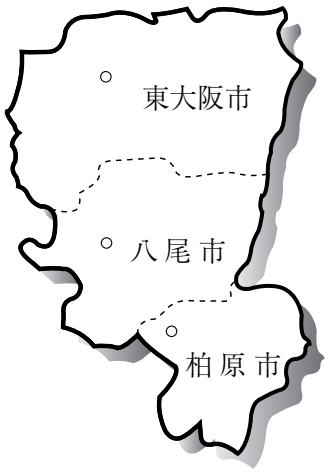
八尾市

■面積

行政区域面積	41.71㎢
市街化区域面積	2,723ha

■人口動態

人口	273,487人
世帯数	105,746世帯
人口密度	6,557人／㎢
人口伸率	△0.5%
高齢化率	19.2%



柏原市

■面積

行政区域面積	25.39㎢
市街化区域面積	931ha

■人口動態

人口	77,034人
世帯数	29,284世帯
人口密度	3,034人／㎢
人口伸率	△2.8%
高齢化率	16.9%

八尾市

骨格

平成19年度当初予算総額　184,201百万円　対前年度比　0.1%増
平成19年度一般会計予算　85,458百万円　対前年度比　1.9%減

Ⅰ．予算の特色

平成16年９月に策定した「八尾市財政健全化基本方針」の最終年度として、昨年度に引き続き職員数の削減等による人件費の抑制をはじめ、経常経費及び投資的経費の一部において対前年度マイナスとなる要求上限額の設定、同和関係団体等への委託事業見直し、補助金、繰出金、外郭団体等の見直しにより財源の捻出に努めた。しかしながら、歳入の確保が依然として厳しい状況にあることから、財源対策のため基金を活用することで、全体として市民サービスの低下を来たすことのないように予算配分を行った。

Ⅱ．施策体系別主要事業一覧

	予算額 単位万円
1．地域経営システム	
①男女共同参画施策推進事業	960
②小学校区集会所整備事業	4,740
③八尾河内音頭まつり支援事業	2,000
2．健康福祉	
①新地域福祉計画の策定㊨	699
②高齢者保健福祉計画の見直し㊨	202
③障害者基本計画の見直し	750
④グループホーム等運営支援補助金事業（知的及び精神）	1,932
⑤保育所待機児童解消計画の推進事業	223,118
⑥私立保育所運営費補助事業（障害児保育支援・延長保育・一時保育等）	68,628
⑦病児・病後児保育事業	1,418
⑧つどいの広場事業	1,379
⑨公立保育所駐車場整備事業㊨	290
⑩公立保育所民営化推進事業	22,632
⑪予防接種事業	19,775
⑫健康診査事業	44,357
3．教育文化	
①市立幼稚園預かり保育事業	2,049
②放課後子ども教室推進事業㊨	1,545
③小・中学校耐震診断及び耐震補強事業	4,950
④特別支援教育推進事業	154
⑤図書館サービスの充実事業	226
⑥既設給食施設更新事業	1,470
⑦市指定文化財等保存・活用事業	24,289
4．産業経済	
①地域就労支援事業	1,218
②中小企業サポートセンター事業	3,269
③商業共同施設設置補助事業	633
④空き店舗活用促進事業	500
5．生活環境	
①一般廃棄物処理基本計画（ごみ編）推進事業	497
②指定袋等による分別収集事業	13,186
③粗大ごみ戸別収集事業	2,070
④環境の監視（騒音監視）	610
⑤予防広報推進事業	179
⑥廃棄物処理センター建替事業	136,433
⑦第２次救急医療機関の充実促進	913
6．都市基盤	
①自転車駐車場整備事業	440
②市営大正住宅建替事業	88,061
③市営西郡・安中住宅機能更新事業	32,582

柏　原　市

平成19年度当初予算総額　54,469百万円　対前年度比　4.1％増
平成19年度一般会計予算　23,007百万円　対前年度比　0.4％減

Ⅰ．予算の特色

一般会計予算については、平成19年度も18年度に引き続き、本市の適正予算規模と考える231億円（市民１人当たり30万円×人口７万7000人）を堅持する。

しかし、19年度においては、一部の特別会計などで単年度的に支出の増が予想されるため、引き続き積極的に節減に取り組むこととしている。一般会計では前年度比0.4％の減であるが、特別会計や企業会計を含めた全体では逆に前年度比4.1％の増となっている。

Ⅱ．施策体系別主要事業一覧

	予算額 単位万円
1．都市基盤のまちづくり	
①上市今町線整備事業	20,672
②道路新設改良事業	13,200
③都市近郊農空間整備事業㊨	8,200
④水路改修事業	856
⑤市道維持補修事業	800
2．教育・文化・人権のまちづくり	
①堅上小・中学校一貫教育事業	1,308
②中学校校舎耐震化事業	5,315
③スタディ・アフター・スクールモデル事業	939
④幼稚園預かり保育モデル事業㊨	168
⑤放課後子ども教室推進事業㊨	470
⑥小学校施設整備事業	747
3．生活環境のまちづくり	
①防火水槽設置事業	4,189
②リサイクル促進事業補助金㊨	360
③浄化槽設置整備事業㊨	370
4．産業のまちづくり	
①中小企業開業資金融資利子補給金	200
5．市民参加と協働のまちづくり	
①コミュニティ会館整備事業	6,130
②戸籍電算化事業	234
③ＦＭ放送による市政情報提供	80

東大阪市

※

平成19年度当初予算総額　355, 418百万円対前年度比　3.9%増（1.4%増）
平成19年度一般会計予算　168, 986百万円対前年度比　1.7%増（0.4%増）

Ⅰ．予算の特色

平成19年度の当初予算は、少子高齢化等に伴う扶助費や介護保険・国民健康保険事業特別会計への繰出金などの社会保障関係費の増加に加え、団塊の世代職員の退職による退職手当の増加などにより多額の財源不足が見込まれたものの、緊急に対応すべき施策の峻別と、集中改革プランの着実な実行など、効率的な財源配分により予算総額の増加を抑制するとともに、退職手当債や基金の活用で財源を確保することにより市民の声に応える予算編成を行った。

Ⅱ．施策体系別主要事業一覧

	予算額 単位万円
1．市民が主体となったまちづくり	
①自治集会所整備助成事業	3, 300
②地域まちづくり活動助成事業	900
③防犯灯設置費補助事業	1, 080
④電子入札システム導入経費	1, 192
⑤男女共同参画プラン推進事業	255
2．市民文化を育むまちづくり	
①文化推進事業	119
②旧河澄家整備事業	2, 400
③大規模スポーツ施設運営補助金	5, 000
④東大阪市地域研究助成金事業	250
⑤愛ガード運動推進事業	1, 435
⑥いじめ防止対策経費㊨	1, 009
⑦放課後子ども教室推進事業㊨	1, 400
⑧小学校建設事業	132, 231
⑨中学校建設事業	42, 536
⑩幼稚園整備事業	5, 765
⑪高等学校整備事業	12, 970
3．健康と市民福祉のまちづくり	
①高齢者等住宅改造助成事業	4, 536
②高齢者向け優良賃貸住宅供給促進事業	3, 160
③障害者ケアホーム運営安定化事業㊨	7, 325
④障害者自立支援法内施設移行促進事業㊨	190
⑤地域移行支援センター事業	920
⑥鉄道駅舎エレベーター整備補助事業	11, 369
⑦母子家庭等就業・自立支援センター事業㊨	400
⑧つどいの広場事業㊨	1, 308
⑨特定不妊治療助成事業	3, 603
4．活力ある産業社会を切り拓くまちづくり	
①技術交流プラザ事業	2, 030
②モノづくりクラスター推進事業	1, 900
③モノづくり立地促進事業	4, 902
④若年者等雇用実態調査事業㊨	100
⑤小売商業活性化先進モデル事業㊨	2, 230
⑥商店街・小売市場集客力強化事業㊨	900
⑦中小企業振興補助事業	2, 318
⑧まちナビ（情報発信）支援事業㊨	500
⑨消費者対策事業	2, 090
5．安全で住みよいまちづくり	
①大阪外環状線鉄道建設事業	45, 412
②大阪外環状線連続立体交差事業	86, 500
③大阪モノレール整備関連経費	200
④近鉄奈良線連続立体交差事業	132, 462
⑤街路整備事業	179, 483
⑥河内花園駅前地区市街地再開発事業	103, 566
⑦公共下水道事業	772, 074
⑧道路新設改良事業	26, 194
⑨密集住宅市街地整備促進事業	16, 530
⑩民間建築物耐震改修促進経費㊨	1, 410
⑪再生資源分別推進補助金㊨	390
⑫地域防災計画修正経費㊨	330
⑬消防施設整備事業	15, 936
⑭防災対策事業	3, 129

南河内地域

松原市

■面積

行政区域面積	16.66㎢
市街化区域面積	1,279ha

■人口動態

人口	127,276人
世帯数	48,480世帯
人口密度	7,640人／㎢
人口伸率	△4.0%
高齢化率	19.1%

藤井寺市

■面積

行政区域面積	8.89㎢
市街化区域面積	753ha

■人口動態

人口	65,780人
世帯数	25,189世帯
人口密度	7,399人／㎢
人口伸率	△1.5%
高齢化率	19.2%

羽曳野市

■面積

行政区域面積	26.44㎢
市街化区域面積	1,337ha

■人口動態

人口	118,695人
世帯数	43,225世帯
人口密度	4,489人／㎢
人口伸率	△0.5%
高齢化率	19.2%

太子町

■面積

行政区域面積	14.17㎢
市街化区域面積	238ha

■人口動態

人口	14,483人
世帯数	4,840世帯
人口密度	1,022人／㎢
人口伸率	2.1%
高齢化率	16.5%

大阪狭山市

■面積

行政区域面積	11.86㎢
市街化区域面積	741ha

■人口動態

人口	58,208人
世帯数	21,807世帯
人口密度	4,908人／㎢
人口伸率	2.1%
高齢化率	17.2%

河南町

■面積

行政区域面積	25.26㎢
市街化区域面積	236ha

■人口動態

人口	17,545人
世帯数	6,419世帯
人口密度	695人／㎢
人口伸率	1.2%
高齢化率	19.6%

富田林市

■面積

行政区域面積	39.66㎢
市街化区域面積	1,579ha

■人口動態

人口	123,837人
世帯数	44,834世帯
人口密度	3,122人／㎢
人口伸率	△2.2%
高齢化率	17.6%

河内長野市

■面積

行政区域面積	109.61㎢
市街化区域面積	1,527ha

■人口動態

人口	117,239人
世帯数	40,900世帯
人口密度	1,070人／㎢
人口伸率	△3.1%
高齢化率	19.3%

千早赤阪村

■面積

行政区域面積	37.38㎢
市街化区域面積	130ha

■人口動態

人口	6,538人
世帯数	2,122世帯
人口密度	175人／㎢
人口伸率	△6.2%
高齢化率	24.3%

富田林市　骨格

平成19年度当初予算総額　69, 985百万円　対前年度比　3.8%増
平成19年度一般会計予算　34, 317百万円　対前年度比　0.6%増

Ⅰ．予算の特色

平成19年度においては、地方税収入や地方交付税の原資となる国税収入が増加するものの、社会保障関係費の自然増により、依然として大幅な財源不足が見込まれ、行財政を取り巻く環境は大変厳しい状況にあることから、引き続き安定した財政基盤の構築と、市民ニーズへの的確な対応を図り、市民の協働のもとで、行財政運営に取り組む。19年度予算については、4月に市長選挙を控えていることから、新たな施策や制度の拡大等については極力避け、子育て支援、防災、義務的経費を中心とした骨格予算として編成した。

Ⅱ．施策体系別主要事業一覧

	予算額 単位万円
1．防災安全	
①同報系防災無線整備	2, 500
②公共施設等耐震調査	2, 953
③小学校耐震及び補強工事	21, 202
④中学校耐震及び補強工事	11, 382
⑤幼稚園耐震診断	1, 500
⑥学校緊急安全対策	5, 276
⑦消防施設整備	4, 643
2．学校教育	
①中学校給食事業	2, 239
②英語指導助手配置事業	3, 137
③トイレ改修事業	3, 350
④学校図書館教員補助員配置	1, 401
3．子育て支援	
①児童手当給付事業	90, 942
②学童保育事業	13, 899
③予防接種事業	15, 061
④つどいの広場事業	2, 023
⑤ひとり親家庭等自立支援対策事業	963
⑥育児支援家庭訪問事業	85
4．福祉・保健衛生	
①コミュニティソーシャルワーカー配置	2, 610
②後期高齢者医療制度負担金	2, 238
③国保ヘルスアップ事業	645
5．まちづくり	
①街なみ環境整備事業	13, 697
②富田林駅前整備事業	8, 213
③中層市営住宅再整備事業	7, 160
④甲田桜井線新設事業	5, 144
⑤竜泉1号線拡幅事業	7, 486
6．環境	
①浄化槽市町村整備事業	15, 419
②公害対策事業	135
③ＩＳＯ認証取得補助	100
7．市民協働・国際化	
①市民公益活動推進事業	116
②地域集会所等整備事業	6, 085

河内長野市

平成19年度当初予算総額　72, 396百万円　対前年度比　6.2%増
平成19年度一般会計予算　32, 350百万円　対前年度比　3.2%減

Ⅰ．予算の特色

平成19年度予算は、歳入面では、市税が税制改正により増加したものの、税源移譲に伴う所得譲与税の廃止、定率減税の廃止に伴う地方特例交付金の減により、一般財源全体では減少し、歳出面では、社会保障関係経費の増、公債費の増、退職手当の増など、非常に厳しい財政状況の中、更なる財政健全化に向けた取り組みを最優先課題とし、人件費の抑制や事務事業等の見直しを行い、安全・安心対策をはじめ、次世代育成、教育環境整備、協働のまちづくりといった新たな重要課題への対応と、本市の特色である森林や文化財などの貴重な資源を有効活用した地域振興策を推進する予算とした。

Ⅱ．施策体系別主要事業一覧

	予算額 単位万円
1．環境調和都市	
①公園遊具等安全対策事業	450
②第２清掃工場建設関連の環境整備事業	500
③森林プラン推進事業㊨	2, 749
④滝畑千石谷地区市所有森林の管理	815
2．共生共感都市	
①地域福祉活動支援事業	977
②南花台ふれあいプラザの開設㊨	44
③地域コミュニティソーシャルワーカー配置事業	2, 600
④新予防給付事業の体制充実	3, 653
⑤高齢者地域介護・福祉空間整備等交付金事業㊨	4, 000
⑥障害者作業所運営補助事業	3, 142
⑦障害者自立支援法円滑施行特別対策事業㊨	2, 950
⑧河内長野市障害者長期計画改訂事業の実施	280
⑨児童手当の乳幼児加算の創設	78, 500
⑩特定健診・保健指導事業㊨	300
⑪後期高齢者医療広域連合設立事業の実施	5, 507
3．元気創造都市	
①放課後子ども教室事業の実施㊨	154
②放課後児童会施設の整備㊨	294
③子育て家庭ほっと支援事業の実施㊨	512
④地域子育て支援事業の実施	774
⑤教育情報化推進事業㊨	981
⑥長野小学校校舎増築事業㊨	10, 179
⑦小・中学校施設大規模改造事業	28, 178
⑧子ども教育支援センター事業㊨	441
⑨子ども見守りパトロール事業	631
⑩歴史遺産活用事業㊨	485
⑪国指定史跡保存整備計画策定事業㊨	708
⑫新規就農者育成支援事業㊨	100
⑬農村総合整備事業	11, 785
⑭ふるさと農道整備事業	10, 395
4．安全安心都市	
①公共施設にＡＥＤ「自動体外式除細動器」の設置	350
②アスベスト対策	4, 657
③自主防犯活動推進事業	200
④消防防災拠点施設の整備	59, 600
⑤消防施設・設備整備事業	7, 055
⑥耐震改修促進計画の策定㊨	800
⑦自主防災組織活動推進事業助成㊨	17
⑧河合寺竜泉寺線の整備	15, 450
⑨三日市１号線の整備	9, 800
⑩配水施設等改良事業	111, 138
⑪公共下水道の整備	122, 928
⑫市設置型浄化槽の整備	5, 108
⑬市営斎場の建替	4, 500
5.自立協働都市	
①（仮称）市民公益活動支援センターの整備㊨	4, 484
②市民公益活動支援・協働促進事業	439
③アドプト制度の実施	53
④校区内交流会の開催㊨	30
⑤土地開発公社経営健全化計画の推進㊨	373, 935
⑥文化施設予約システム構築事業	281
⑦コンビニ収納の拡大	976

松　原　市

平成19年度当初予算総額　86,059百万円　対前年度比　3.8%増
平成19年度一般会計予算　36,410百万円　対前年度比　0.7%増

Ⅰ．予算の特色

景気に回復感が現れ始めたものの、一応の終息を迎えた三位一体改革によってもたらされた税源移譲による市税への跳ね返りはあまり期待できず、地方交付税の圧縮と同時に基金の枯渇が本市の元来脆弱な財政基盤に追い討ちをかけている。そのような状況においても、社会的弱者とされる高齢者・障害者・母子・子ども等に対する対策に重点をおき、特に教育環境の安全対策や生活面や学業面のサポートを拡充させるなど、市全体が協働の名の下に安心・幸せに暮らせる街づくりを目指し、予算編成を行った。

Ⅱ．施策体系別主要事業一覧

	予算額 単位万円
1．健康で明るい文化都市の建設	
①食の安全流通対策等事業	1,231
②国際化事業	2,734
③地域国際化支援事業	515
④都市近郊農業振興対策運営事業	471
⑤市民雇用創出事業	2,876
⑥中小企業融資事業	6,400
⑦地域商業活性化事業補助	911
⑧情報化推進事業	3,410
⑨（仮）北新町大池公園整備事業	16,000
⑩特色ある道づくり（我堂一津屋線等）	29,730
⑪道路新設事業（北新町19号線）	3,100
⑫緑化推進事業	611
2．自然環境の保全と災害に強い街づくり	
①防犯等補助事業	2,631
②資源ごみ収集・中間処理業務	4,986
③環境保全事業	910
④ごみ減量・啓発事業	2,074
⑤下水道事業特別会計繰出金	219,600
⑥浸水対策（配水管布設等）	2,300
⑦消防ポンプ自動車購入事業	1,800
⑧高規格救急自動車・高度救命資機材購入	3,100
⑨消火栓施設整備事業	900
3．高齢者と障害者に優しい都市基盤の整備	
①公共施設循環バス運行事業	1,931
②交通安全対策（歩道設置工事等）	4,324
③放置自転車対策（自転車撤去、保管返還）	2,605
4．倫理観をもった個性を伸ばす教育の実現と生涯学習の充実	
①市立小学校セフティスクールサポート事業	3,090
②小中学校情報教育運営事業	10,606
③総合的教育力推進事業	1,256
④特色・個性化教育推進事業	1,405
⑤教育用ネットワーク事業	1,247
⑥小中学校大規模改造事業（耐震補強・老朽化改造）	73,049
⑦各中学校特別教室空調設備新設工事㊨	584
⑧文化施設運営管理事業	16,641
5．福祉，医療，介護の三本柱の充実	
①高齢者福祉事業（生活支援・生きがい対策）	15,261
②障害者福祉事業（介護等福祉事業）	90,042
③障害者福祉事業（自立生活支援事業）	14,132
④障害者福祉事業（社会参加促進事業）	17,041
⑤障害者福祉事業（施設入所事業）	39,863
⑥児童福祉事業（母子福祉，保育）	132,974
⑦子育て支援事業（病後時保育等）	2,782
⑧子ども未来基金事業	10,000
⑨市立松原病院補助	50,650
⑩乳幼児医療費助成事業	23,816
⑪保健対策（予防接種，老人保健，母子保健）	41,928
⑫高齢者介護予防事業	6,368
⑬高齢者介護支援事業	2,816

羽曳野市

平成19年度当初予算総額　80,050百万円　対前年度比　1.8%増
平成19年度一般会計予算　39,123百万円　対前年度比　8.5%増

Ⅰ．予算の特色

平成18～27年度を計画期間とする「第５次総合基本計画」を策定して実質的には最初の予算となる平成19年度予算は、その将来像である「人・時をつなぐ　安心・健康・躍動都市　はびきの」の実現をめざして、「賑わい・交流拠点の創生・充実」、「子どもたちが育ち、人が生き生きと暮らせる環境づくり」に重点をおいた。

具体的には、道の駅「しらとりの郷・羽曳野」の６月開設、バリアフリー基本構想の策定、古市駅前広場予定地の有効活用、峰塚公園の平成20年度全体開園に向けた整備、特定健診・特定保健指導事業実施計画の策定、はびきのコロセアムのウォーキングロード・健康広場等の整備、保育園の統合整備、保育園緊急１１０番通報システム整備、義務教育施設の整備などである。

本年度の予算は、上記の考えかたのもと、必要な事業を確実に進めるとともに、財政状況をふまえ、総額の伸びを極力抑制した予算編成となっている。

Ⅱ．施策体系別主要事業一覧

	予算額 単位万円
1．『安全・安心、快適で住みやすいまち』づくり	
①防災ハンドブック作成㊨	890
②古市駅西地区環境整備事業	5,000
③市営住宅ストック総合改善事業	5,487
④道路整備事業	87,686
⑤峰塚公園整備	20,336
⑥バリアフリーに関する基本構想策定㊨	356
⑦公共下水道事業	534,627
⑧交通安全施設整備事業	2,913
⑨耐震改修促進計画策定㊨	900
⑩消防ポンプ車購入㊨	1,850
⑪ごみ減量・リサイクル事業	1,054
⑫都市計画マスタープラン作成	1,014
2．『健康で生き生きと暮らせるやさしいまち』づくり	
①後期高齢者医療制度実施体制の確立	7,421
②特定健診・特定保健指導実施計画策定㊨	2,311
③自立就労支援員設置㊨	255
④乳幼児医療費助成事業	19,693
⑤予防接種費	10,958
⑥障害者自立支援事業	91,907
⑦老人福祉援護事業	15,063
⑧身体障害者・知的障害者医療費助成事業	14,935
⑨老人医療費助成事業	93,328
⑩介護保険事業	109,957
⑪障害者等相談支援事業	2,842

	予算額 単位万円
3．『次代を担う子どもを育むまち』づくり	
①子ども家庭サポーター電話相談㊨	6
②向野第１保育園増改築事業	69,241
③保育園等緊急１１０番通報システム㊨	315
④学校耐震診断・耐震補強事業	7,690
⑤古市小学校屋内運動場改築事業	2,200
⑥保育園施設管理運営費	33,307
⑦民間保育所運営費	124,603
⑧特別支援教育体制推進・教育相談充実事業	215
4．『魅力ある地域社会を拓く活力あるまち』づくり	
①ウォーキングロード・健康広場整備㊨	3,200
②道の駅「しらとりの郷・羽曳野」の整備	4,825
③地域就労支援事業	961
④人権施策企画調整・人権擁護推進事業	674
⑤ふれあい健康まつりの充実	300
⑥文化財保護事業	2,119
⑦土地改良事業	7,908
⑧商工振興事業費	1,463
5．『信頼に基づく市民とともにつくるまち』づくり	
①タウンミーティングの開催	20
②（仮）市民公益活動支援センター準備委員会の設置㊨	499
③軽自動車税コンビニ収納事務㊨	77
④事務事業評価の試行	—
⑤行財政改革の推進	—

藤井寺市

骨格

平成19年度当初予算総額　41, 980百万円　対前年度比　1.8%増
平成19年度一般会計予算　18, 776百万円　対前年度比　1.1%減

Ⅰ．予算の特色

第四次藤井寺市総合計画において、市の将来像を「安全・安心と歴史を未来に引き継ぐまち 藤井寺」と定め、地域とともに創り・育み・歩むまちを目指している。さらに、「参加と協働のまち」、「安全で快適なまち」、「安心と共生のまち」、「活力を育むまち」、「個性が光るまち」の５つのまちづくり目標を設定し、将来像の実現と市民サービスの向上に向けた取り組みを行っている。

平成19年度においては、市長改選期にあたることから、骨格予算として編成しているが、「選択と集中」という観点のもと、市民病院の建て替えをはじめ、防災体制の充実、子どもたちや地域の安全確保に向けた防犯対策の強化、地域福祉と介護保険事業の推進、子育て支援、公共下水道や道路整備、良好な教育環境の確保、文化・スポーツの振興などを重点として予算編成を行った。

Ⅱ．施策体系別主要事業一覧

	予算額 単位万円
1．参加と協働のまち	
①遣唐留学生「井真成」関連事業	100
②防犯カメラ設置モデル地区助成事業㊨	450
③地域自主防災訓練の実施	18
④消費生活相談事業の充実	120
⑤情報リテラシー向上事業	125
2．安全で快適なまち	
①市立藤井寺市民病院移転新築事業	17, 579
②都市計画道路北条松原線整備事業	22, 946
③洪水ハザードマップ作成事業㊨	524
④王水川分水路改修事業	611
⑤子ども安全見守り活動事業㊨	42
⑥防災行政無線運用事業	851
⑦街路照明灯整備事業	2, 564
⑧違法駐車等防止交通啓発事業	1, 697
⑨小学校地震補強（大規模改造）事業	9, 780
3．安心と共生のまち	
①介護保険地域支援事業	5, 219
②障害者自立支援事業及び相談事業	49, 350
③母子自立支援プログラム策定員の配置㊨	153
④公立保育所エアコン設置事業	400
⑤ファミリー・サポート・センター事業	256
⑥カンガルー教室	328
⑦乳幼児医療費助成事業	13, 401
⑧国保ヘルスアップ事業	800
⑨男女共同参画社会推進事業	65
4．活力を育むまち	
①小学校英語条件整備推進プラン㊨	60
②ＡＬＴ活用事業	1, 991
③不登校児童生徒支援事業㊨	59
④放課後児童会の開設時間延長㊨	770
⑤青少年健全育成事業	454
⑥都市間交流事業	16
⑦国際交流事業	490
⑧各種検診の充実	3, 660
⑨スポーツ振興事業	240
5．個性が光るまち	
①土師ノ里駅周辺整備事業	2, 943
②宮池整備事業	2, 990
③文化財保護事業	106
④史跡管理事業	1, 121
⑤緑化推進事業	2, 130
⑥文化振興事業	589

大阪狭山市　骨格

平成19年度当初予算総額　30,202百万円　対前年度比　2.6%減
平成19年度一般会計予算　14,293百万円　対前年度比　6.7%減

Ⅰ．予算の特色

歳入については、市税が三位一体改革を含めた税制改正により増加するものの、国庫補助金や地方交付税が減少し、一般財源全体でも減少傾向を示している。一方、歳出では、人件費の抑制や事務事業の徹底した見直しによる財源確保に取り組んでいるものの、扶助費や医療費などの社会保障費をはじめ子育て支援対策経費の増加によりその取組効果額が相殺されている状況である。

平成19年度当初予算においては、市長選挙を控えているため骨格型予算編成とし、財政調整基金などの基金を取り崩さずに編成することを基本方針とした。しかし、継続して行わなければならない投資的な経費については、必要最小限に抑え、当初予算で措置することとした。

Ⅱ．施策体系別主要事業一覧

	予算額 単位万円
1．共につくる、誰もがいきいきと生活できるまちづくり	
①市制20周年記念誌発行事業	210
②人権に関する市民意識調査事業	100
③（仮称）自治基本条例制定事業	38
2．安心して暮らせる、ふれあいのまちづくり	
①後期高齢者医療対策事業	6,770
②『ツール・ド・大阪』ウォーキングコース普及推進事業	30
③介護予防普及啓発事業	116
④特定健康診査等実施計画策定事業	399
⑤高度救急活動機器整備事業	100
3．環境にやさしい、うるおいのあるまちづくり	
①大阪府都市緑化フェア開催事業	150
4．心豊かな人と文化をはくぐむまちづくり	
①小学校整備事業	28,400
5．豊かな暮らしと活気のあるまちづくり	
①送配水管改良事業	17,720
②水道施設安全対策事業	1,420
③公共下水道（汚水）整備事業	4,600
④金剛駅周辺バリアフリー道路特定事業	7,800
⑤ため池維持管理事業	150
6．計画推進のために	
①指定管理者制度導入事業	13,724

太 子 町

平成19年度当初予算総額　7, 846百万円　対前年度比　1.6%増
平成19年度一般会計予算　4, 087百万円　対前年度比　1.8%減

Ⅰ．予算の特色

厳しい財政状況の中、行財政改革を最優先課題とし、昨年改訂した「太子町版集中改革プラン」を19年度版に見直し、さらに強力な行財政改革を進めることとしている。この中で、とくに平成17年度から19年度までの３年間を集中取組期間と位置づけ、抜本的な見直しを進めることとしている。

平成19年度当初予算（案）は、この計画に基づき、職員数の見直し・人件費の抑制や施策の再構築などの行財政改革を断行する一方、安心・安全のまちづくり、教育・福祉の充実や観光を通じた、豊かな緑と歴史を活かした元気のあるまちづくりを推進を図る上で、行政運営に必要な経常経費にあっては最小限度にとどめるとともに、投資的経費についても最低限必要となる維持管理経費とし、とくに住民にとって緊急性・必要性の高い施策や事業であっても、財源の手当てができる事業に対し優先的に重点配分を行った予算となっている。

Ⅱ．施策体系別主要事業一覧

	予算額 単位万円
1．愛着と誇りを持てるまち	
①学校施設等整備事業	652
②人権啓発事業	338
③ＡＬＴ（外国語指導助手）配置事業	1, 175
④学校防犯事業	320
⑤区長会等運営事業	1, 219
2．いつまでも快適で生き活きできるまち	
①特定健康診査実施計画㊨	315
②地域福祉推進事業	4, 079
③高齢者介護予防事業㊨	701
④後期高齢者医療事業㊨	3, 212
⑤放課後児童会事業	1, 797
3．みんなの力で安全と安心を守るまち	
①企画一般事業	500
②道路整備事業	3, 036
③都市計画一般事務事業	13
④常備消防事業	15, 749
⑤災害対策事業	1, 368
4．地域の魅力アップ	
①中山間地域等直接支払制度事業	406
②観光推進事業	670
5．構想の実現に向けて	
①電算事務管理事業	3, 980
②行財政改革の推進	―

河南町　※

平成19年度当初予算総額　9,950百万円　対前年度比　9.5%増（2.7%増）
平成19年度一般会計予算　4,661百万円　対前年度比　11.6%増（3.8%増）

Ⅰ．予算の特色

厳しい財政環境のなか、「改革と創造」を政策の柱に、行財政の改革を最優先課題と位置付け、より一層歳出削減に努める一方、安全・安心・安住のまちづくりに直結する施策に重点配分したものとしている。

平成19年度は主な事業として、少子化、子育て支援では、保育所の屋外遊戯場の拡張や全ての新生児を対象とした訪問育児指導を行う。防犯対策では、地域での防犯活動に資するため、青色回転灯防犯パトロール支援事業や地域防犯ボランティア団体育成事業を行う。防災対策では、住民参加型の防災訓練を実施するほか、府と連携して土砂災害情報相互通報システムの整備に取り組む。教育関係では、小中学校校舎の耐震診断結果に基づく実施設計業務に着手するとともに、少子化の進展を踏まえて小学校問題審議会を設置する。環境対策として、エコアクション21への認証登録を行い、事業活動に伴う環境への負荷を軽減する取り組みを行う。

Ⅱ．施策体系別主要事業一覧

	予算額 単位万円
1．健康で安らぎとふれあいのあるまちづくり	
①地域防犯ボランティア団体育成支援事業㊨	70
②青色回転灯防犯パトロール支援事業㊨	30
③エコアクション21認証登録制度事業㊨	37
④介護予防事業	376
⑤障害者支援費事業	4,898
⑥地域生活支援事業	1,266
⑦乳幼児医療助成事業	2,686
⑧子育てセンター事業	531
⑨児童手当給付事業	11,216
⑩中央保育所施設改修事業㊨	129
⑪小児急病診療事業負担	1,179
⑫保健事業	3,837
⑬こんにちは赤ちゃん事業㊨	53
⑭山城新池改修事業㊨	1,349
⑮中中池改修事業㊨	120
⑯寛弘寺竹ノ内線交差点改良事業㊨	82
⑰住宅・建築物耐震化促進事業㊨	54
⑱土砂災害情報相互通報システム整備事業	1,647
2．文化・芸術の香り高い豊かな人間性を育むまちづくり	
①中学校における英語青年招致事業	417
②小学校における英語・国際理解教育推進事業	966
③警備員配置事業	1,284
④小学校問題審議会事業㊨	53
⑤子ども読書活動推進事業	256
⑥小学校校舎大規模改造事業㊨	65
⑦中学校校舎大規模改造事業㊨	768
⑧幼稚園施設等改修事業㊨	100
⑨公民館図書室図書充実事業	446
⑩ＣＡＰプログラム事業	63
⑪生涯スポーツ推進事業	75
⑫学校給食設備整備事業	233
3．快適で住みよいまちづくり	
①集落内道路改修事業	1,988
②町道整備事業	1,350
③公共下水道整備事業	22,952
④上水道第３次拡張事業	4,641
⑤上水道施設改良事業	1,650
4．魅力と活力のあるまちづくり	
①農作物被害防止事業	240
②中山間地域総合整備事業	2,794
③越ヶ井水路改修事業	3,321
④小規模企業事業資金融資信用保証料補給	100
5．みどり豊かなうるおいのあるまちづくり	
①ふれあい緑化推進事業	31
②公園維持事業	300
③弘川寺歴史と文化の森活用推進事業	60

千早赤阪村

平成19年度当初予算総額　4,941百万円　対前年度比　1.7%増
平成19年度一般会計予算　2,363百万円　対前年度比　0.3%減

Ⅰ．予算の特色

歳入では、税源移譲により村民税が増加となる一方、地方譲与税などの減少によって財源不足が生じ、各基金を１億7,900万円取り崩し予算編成を行った。

主な事業では、小学校の統合による通学バスの運行に461万円、村道の新設改良事業に2,900万円、赤阪小学校の校舎耐震診断などに1,000万円、大阪府営事業の中山間地域総合整備事業負担金に1,298万円、中学校の下水道接続工事に300万円　など。

特別会計は総額25億7,871万円（3.5%増）で、国民健康保険特別会計の事業勘定が保険給付費の増加などにより10.7%の増、金剛山観光事業特別会計が平衡索取替工事（1,830万円）や制御盤更新工事（1,700万円）などにより178.3%の増となっている。

Ⅱ．施策体系別主要事業一覧

	予算額 単位万円
1．豊かな自然と歴史文化を守り、伝え、活用します	
①金剛山管理事業	621
②文化財調査等事業	91
2．便利で、ここちよく暮らせる都市基盤を形成します	
①村道整備	3,650
②上水道事業	2,458
③下水道事業	2,600
3．地域資源を生かして産業を振興します	
①中山間総合整備事業	1,100
②森林整備事業	50
③地域就労支援事業	37
④観光振興事業	258
4．やすらぎ、安心して暮らせる地域社会を形成します	
①福祉医療助成事業	4,478
②後期高齢者医療制度システム事業	1,810
③ごみ減量・資源化対策事業	781
5．だれもが地域を誇れるこころを育みます	
①英語指導助手派遣事業	548
②学校教育支援推進事業	496
③学校安全緊急対策事業	286
④公民館事業	298
⑤学校関係施設整備事業（耐震診断を含む）	2,540
6．みんながまちづくりに参加できる開かれたしくみをつくります	
①広報紙発行事業	308
②地域住民との協働	－
③ＬＧＷＡＮ整備事業	318

泉 北 地 域

高石市

■面積

行政区域面積	11.35㎢
市街化区域面積	1,116ha

■人口動態

人　口	61,127人
世帯数	22,829世帯
人口密度	5,386人／㎢
人口伸率	△1.8%
高齢化率	18.8%

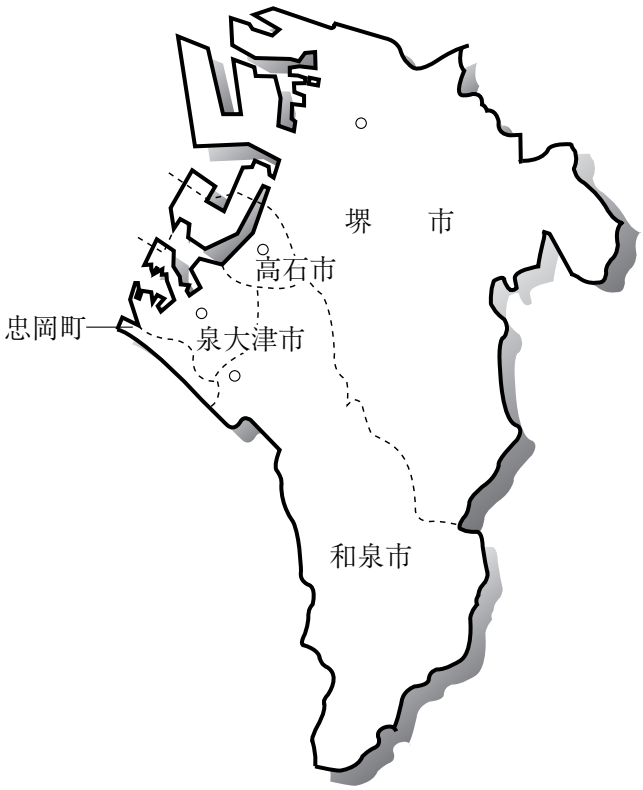
堺市

■面積

行政区域面積	149.99㎢
市街化区域面積	10,928ha

■人口動態

人　口	830,966人
世帯数	322,936世帯
人口密度	5,540人／㎢
人口伸率	0.2%
高齢化率	18.6%



泉大津市

■面積

行政区域面積	12.60㎢
市街化区域面積	1,367ha

■人口動態

人　口	77,673人
世帯数	29,500世帯
人口密度	6,165人／㎢
人口伸率	3.4%
高齢化率	16.4%

忠岡町

■面積

行政区域面積	4.03㎢
市街化区域面積	403ha

■人口動態

人　口	17,586人
世帯数	6,280世帯
人口密度	4,364人／㎢
人口伸率	0.4%
高齢化率	19.8%

和泉市

■面積

行政区域面積	84.99㎢
市街化区域面積	2,593ha

■人口動態

人　口	177,856人
世帯数	62,433世帯
人口密度	2,093人／㎢
人口伸率	2.8%
高齢化率	15.7%

堺 市

平成19年度当初予算総額　641, 743百万円　対前年度比　2.7%増
平成19年度一般会計予算　299, 800百万円　対前年度比　3.7%増

Ⅰ．予算の特色

市税収入は景気回復による企業の設備投資をはじめ、税制改正などにより増収が見込まれるものの、今後も団塊世代の大量退職による給与所得者や地方交付税の減少によって厳しい状況が見込まれる。そのため行財政改革を更に推進する一方、堺らしい「オンリーワン」のまちづくりの基本となる、子どもから高齢者まで市民一人ひとりの個性が開花する安全安心な地域社会をつくる諸施策に予算の主眼を置いた。また人口誘導を図り更なる税収基盤を強化するため、産業の集積や都心再生、臨海新都心の形成、交通基盤の強化を推進し、同時に本市の特色ある歴史文化や地域資源を活かした新しい文化が創造される都市づくりを実現する予算を編成した。

Ⅱ．施策体系別主要事業一覧

	予算額 単位万円
1．人権尊重社会、男女共同参画社会の実現	
①平和と人権を尊重するまちづくり条例の推進事業	5, 085
②女性の再就職支援と就業環境の整備	770
2．歴史と文化を活かした都市魅力の創出	
①歴史文化都市推進事業	2, 358
②ブランド創造発信事業	33, 000
③堺臨海部サッカー・ナショナルトレーニングセンター整備	255, 650
④文化観光拠点創出事業	2, 040
⑤町家活用推進事業	32, 935
⑥（仮称）国際化推進アクションプランの策定	1, 000
⑦美原総合スポーツ施設整備事業	9, 296
3．都心の活力創出と都市拠点の形成	
①水環境改善整備事業	11, 310
②美原複合シビック施設整備事業	288, 720
③堺東中瓦町２丁目地区市街地再開発事業	13, 154
④東西鉄軌道事業	9, 257
4．地域の発展を支える経済基盤の形成	
①産業集積拠点形成事業	186, 665
②総合的中小企業支援拠点の強化	23, 600
5．子どもたちを健やかに育む環境づくり	
①認証保育所運営補助事業	27, 595
②認定こども園施設整備事業	16, 604
③学校園運営の基礎的経費である学級需用費	67, 566
④いじめ問題への対応	10, 560
⑤学校芝生化事業	5, 100
6．支えあいと協働による安全で生涯安心なくらしづくり	
①地域包括支援センター運営	49, 479
②高齢者介護予防事業	7, 734
③（仮称）健康福祉プラザ整備事業	6, 473
④救命救急センター設置	10, 600
⑤緊急交通路などの橋梁耐震強化工事	24, 170
⑥街頭犯罪防止対策地域支援事業	3, 814
7．住みよい生活環境の創出と環境との共生	
①第２次環境基本計画策定事業	503
②堺市版エコエリア構想の推進	5, 394
8．市民とともに取り組む市政・まちづくり	
①区民まちづくり会議事業	712
②区民プラザ整備事業	2, 625

泉大津市

平成19年度当初予算総額　60,258百万円　対前年度比　0.7%減
平成19年度一般会計予算　24,655百万円　対前年度比　3.3%減

Ⅰ．予算の特色

平成19年度は、本市が新たに取り組む行財政改革計画「いずみおおつ再生・未来プラン」のスタートの年度である。

ついては、今後予測される厳しい財政状況を克服する行財政体質を確立し、目標とする実質収支の黒字を堅持することを第一義としながら、改めて事業の精査・見直しを行い、「ムダ・ムリ・ムラ」をさらになくし、限られた財源を効果的に配分することにより、市民の安心・安全の確保と市民サービスの向上に配慮し、予算編成を行ったものである。

予算編成の特色は、「安心・安全の防災のまちづくり」、「地球環境に配慮したまちづくり」、「福祉・健康のまちづくり」、「次世代育成を考える教育のまちづくり」、「市民生活に便利なＩＴを活用するまちづくり」、「産業振興を考えるまちづくり」、「都市基盤の充実するまちづくり」の７つの項目について、特に重点を置き取り組んだものである。

Ⅱ．施策体系別主要事業一覧

	予算額 単位万円
1．防災のまちづくり	
①市庁舎耐震工事設計事業㊨	900
②河原町市営住宅整備事業㊨	700
③耐震改修促進計画作成委託事業㊨	1,036
④洪水ハザードマップ作成委託事業㊨	520
⑤小学校校舎耐震診断委託事業	250
2．環境のまちづくり	
①庁舎屋上太陽光発電システム整備事業㊨	1,060
②戎小学校屋内運動場屋上太陽光発電システム整備事業㊨	2,000
③住宅用太陽光発電システム設置事業補助金㊨	360
④穴師小学校校庭芝生整備事業㊨	347
⑤白色トレイ分別収集事業㊨	190
3．教育のまちづくり	
①戎小学校屋内運動場整備事業	18,690
②旭小学校南館整備事業	7,440
③留守家庭児童会事業	7,296
④幼稚園預り保育事業	1,240
4．ＩＴのまちづくり	
①証明書発行専用窓口事業㊨	256
②スポーツ施設利用システム構築事業㊨	428
③市税コンビニエンスストア納付システム導入事業㊨	380
④滞納整理支援システム整備事業㊨	475
⑤人事管理システム整備事業	1,330
⑥学校図書蔵書管理システム整備事業	319
5．産業のまちづくり	
①地域産業振興ビジョン構築委託事業㊨	100
②産業振興事業補助金	1,183
③泉大津未来ビジョン補助金	500
④販路開拓、新商品・新技術、人材育成等補助金	1,030
6．福祉・健康のまちづくり	
①乳幼児健康支援一時預かり委託事業㊨	640
②歯科年末年始等急病診療委託事業㊨	190
③知的障害者相談支援事業㊨	671
④ファミリーサポートセンター事業	878
⑤つどいの広場運営委託事業	793
⑥各種がん検診委託事業	2,814
7．都市基盤の充実するまちづくり	
①火葬場整備基本計画作成業務委託事業㊨	700
②南海中央線街路事業	22,226
③南海本線連続立体交差事業	49,161
8．その他の取組	
①フロアマネージャー配置事業	149
②フカキ夢・ひとづくり事業	454

和　泉　市

平成19年度当初予算総額　109,537百万円　対前年度比　5.6%増
平成19年度一般会計予算　5,260百万円　対前年度比　6.5%増

Ⅰ．予算の特色

平成19年度予算は、第４次総合計画の初年度予算として、市民のための「時代にあった施策」、「５年先・10年先を見据えた施策」をバランスよく推進していくため、計画と予算を直結させた新たな行財政運営手法を構築し、限られた財源の効率的・効果的な配分に努めながら、「人がきらめき　共に育む　元気なまち・和泉」の実現に向け、前年度に引き続き「安全・安心なまちづくり」の推進に係る事業について重点的に予算を配分するとともに、第４次総合計画の大きなテーマである「公民協働のまちづくり」の推進に係る事業についても、関連予算を配分した。

Ⅱ．施策体系別主要事業一覧

	予算額 単位万円
1．みんなの力を生かし地域が活性化するまち	
①（仮称）自治条例制定事業㊨	330
②階層型メールシステム運用事業㊨	300
③熱中市民サポート事業㊨	500
④南部リージョンセンター整備事業	82,241
2．多世代が豊かな心を育む学びのまち	
①母子家庭等自立促進計画策定事業㊨	200
②ファミリーサポートセンター事業	421
③地域子育て支援センター事業	1,740
④いずみ・エンゼルハウス事業助成金	1,735
⑤小中学校耐震補強整備事業㊨	37,942
⑥幼稚園耐震補強改修事業㊨	270
⑦小学校安全緊急対策事業	4,298
⑧保育所・幼稚園巡回警備事業	840
⑨石尾中学校体育館建替事業	36,980
⑩青葉はつが野小学校整備事業	4,840
⑪市史編纂事業	2,766
⑫池上曽根遺跡整備事業	2,014
3．生涯を通じて健康でいきいきと生活できるまち	
①後期高齢者医療制度事業㊨	8,054
②食育推進基本計画策定事業㊨	250
③泉州北部小児初期救急広域センター連携体制事業	200
④老人保健事業特別会計繰出金	103,105
⑤和泉診療所事業特別会計繰出金	9,242
⑥市立病院事業補助金	83,000
⑦小規模多機能型居宅介護事業所整備費補助金㊨	1,500
⑧老人集楷書改修事業㊨	2,440
⑨地域包括支援センター事業	7,400
⑩介護保険事業特別会計繰出金	120,793
⑪前期高齢者医療制度事業㊨	814
⑫国保ヘルスアップ事業㊨	1,197
⑬特定健康診査等実施計画策定事業㊨	315
⑭就労支援システム等構築事業㊨	4,935
⑮介護扶助実施体制整備強化事業㊨	310
⑯国民健康保険事業特別会計繰出金	131,932
4．市民が安全で安心して暮らせるまち	
①洪水ハザードマップ作成事業㊨	488
②40m級はしご付消防自動車オーバーホール経費㊨	2,700
③高規格救急車購入㊨	3,080
④市営住宅ストック総合活用計画策定事業㊨	400
⑤市営住宅安心確保事業㊨	1,000
⑥耐震改修促進計画策定事業㊨	1,072
⑦民間建築物耐震改修補助金㊨	875
⑧市営住宅整備事業（黒鳥第二住宅建替）	68,468
⑨都市再生区画整理事業	3,000
⑩黒鳥山公園整備事業	5,231
⑪緊急貯水槽整備事業㊨	7,461
5．だれもが環境にやさしい生活を営んでいるまち	
①公共下水道事業特別会計繰出金	84,463
②信太山墓地整備事業㊨	8,150
③農業集落排水事業㊨	170
6．個性を活かした産業と働く人々の活気のあるまち	
①土地賃貸促進補助金	10,441
②企業誘致促進奨励金	35,380
③市街地再開発事業繰出金	65,403
④農村交流施設等整備事業㊨	6,982
⑤農村振興総合整備事業	24,775
⑥泉州東部区域農用地総合整備事業	1,061

高 石 市

暫定

平成19年度当初予算総額　39,032百万円　対前年度比　4.4%増
平成19年度一般会計予算　19,763百万円　対前年度比　4.8%増

Ⅰ．予算の特色

平成19年度の予算編成は、本年４月に市長選挙が行われることから、新規事業や政策的な事業を控えた、いわゆる「骨格予算」として編成した。（予算案が否決されたため暫定予算を編成）このような状況にあって、第三次財政健全化計画案に基づき引き続き事務事業の見直しを行ったが、財政再建準用団体への転落回避に向け、財政健全化への取組を一層強化しなければならないと考えている。歳入においては、市税収入が三位一体改革に伴う税源移譲などの影響により対前年度比2.7%増の110億６千万円となったが、歳出においては、退職手当の増加や南海本線等連続立体交差事業の進捗等により大幅に増加し、結果、一般会計の予算規模は対前年度比4.8%増の197億６千万円となった。

Ⅱ．施策体系別主要事業一覧

	予算額 単位万円
1．「小さな輝き」と「和み」をつくりだすまちづくり	
①コミュニティー活動の推進	5,866
②女性施策の推進	85
③人権推進事業	994
④緑化推進事業	2,896
⑤姉妹都市提携	80
2．小さな輝きが磨きあうまちづくり	
①市民文化会館事業	13,061
②奨学金の貸付	1,859
③学校環境の整備	12,562
④保健体育事業	868
3．小さな輝きがともに支えあうまちづくり	
①総合ライフケアセンター指定管理者委託料	4,100
②ホームヘルプサービス支援事業	88
③母子保健事業	2,558
④老人保健事業	10,263
⑤児童福祉事業	85,064
⑥小児救急事業	883
⑦後期高齢者医療事業㊨	4,599
4．小さな輝きの舞台としてのまちづくり	
①南海本線等連続立体交差事業	105,870
②下水道事業（公共下水道事業特別会計）	200,604
③塵芥収集委託	27,838
④自転車対策	867
⑤災害対策	3,667
⑥環境対策	6,891
⑦護岸補修工事負担金㊨	7,506
⑧河川改良事業	6,415
5．小さな輝きが活躍できるまちづくり	
①商工業振興	854
②勤労者対策	693
③消費者対策	999
④農・漁業振興	125
⑤港湾関係	443
6．小さな輝きが広がるまちづくり	
①市政広報・市民相談	977

忠　岡　町

平成19年度当初予算総額　14, 396百万円　対前年度比　11.5％増
平成19年度一般会計予算　7, 271百万円　対前年度比　23.7％増

Ⅰ．予算の特色

平成19年度の一般会計は、73億円で前年度に比べ23.7％の大幅増となるが、町債の借り換えなどを除いた実質の予算額は57億円で2.1％の増となる。平成18年度末で閉院する公立忠岡病院の処理などに財政調整基金の全額取り崩しを行うなど大変厳しい状況となっており、これまで以上の財政健全化を行っていく必要があることから、「第二次財政健全化計画案」を策定し19年度当初予算に盛り込んだ。

このような限られた財源の中でも、小学校のトイレ改修、町立斎場の改修、洪水ハザードマップの作成など住民に密着した施策を推進していくべく予算編成を行った。

Ⅱ．施策体系別主要事業一覧

	予算額 単位万円
1．まちづくりの主役となる人づくりに努める	
①小学校施設整備	2, 100
②留守家庭児童学級運営	1, 154
③人権施策の推進	32
④ＡＬＴ招致事業	449
2．一人ひとりの自立した生活を支える	
①小児初期救急広域センター事業	67
②乳幼児医療費助成事業	2, 352
③子育てセンター支援事業	251
④介護保険地域支援事業	2, 698
3．一人ひとりが安心できる環境づくりに努める	
①斎場改修	2, 478
②洪水ハザードマップ作成業務	404
③耐震改修促進計画策定業務	814
④公共下水道事業	5, 800
4．一人ひとりの暮らしの基盤を整備する	
①福祉バス運行事業	487
②道路管理事業	1, 740
③駅周辺整備事業	582
④商工業の振興	1, 158
5．まちづくりを一人ひとりとともに進めていく	
①財政健全化の推進	―
②地域社会活性化支援	646
③安心相談アドバイザーの配置	246
④情報化推進事業	541

泉南地域

熊取町

■面積

行政区域面積	17.19㎢
市街化区域面積	924ha

■人口動態

人口	44,505人
世帯数	15,070世帯
人口密度	2,589人／㎢
人口伸率	3.7%
高齢化率	15.6%

貝塚市

■面積

行政区域面積	43.99㎢
市街化区域面積	1,663ha

■人口動態

人口	90,314人
世帯数	31,592世帯
人口密度	2,053人／㎢
人口伸率	2.0%
高齢化率	18.3%

岸和田市

■面積

行政区域面積	72.23㎢
市街化区域面積	2,867ha

■人口動態

人口	201,000人
世帯数	72,856世帯
人口密度	2,783人／㎢
人口伸率	0.4%
高齢化率	18.8%

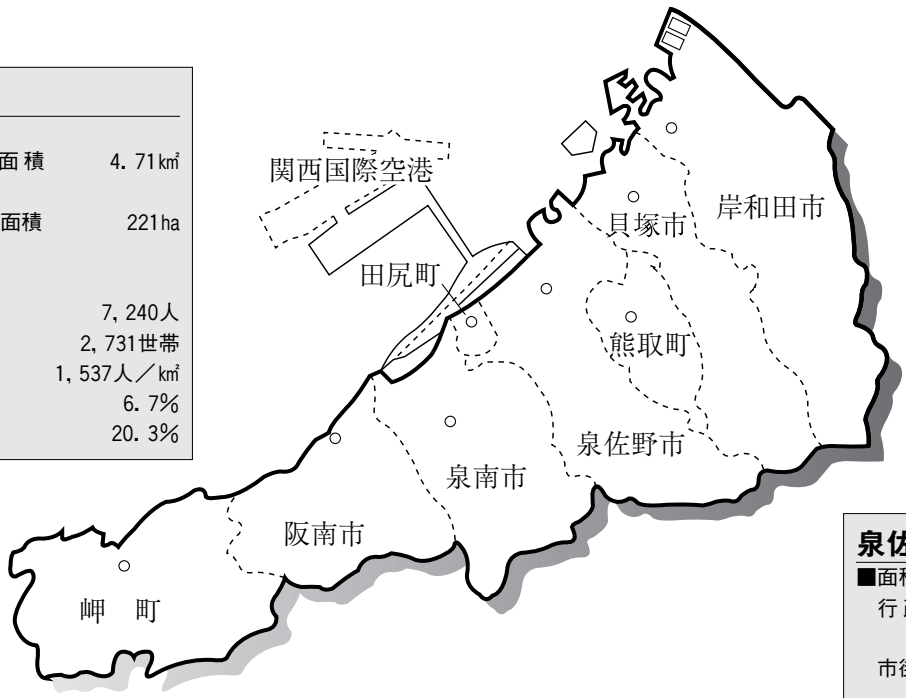
田尻町

■面積

行政区域面積	4.71㎢
市街化区域面積	221ha

■人口動態

人口	7,240人
世帯数	2,731世帯
人口密度	1,537人／㎢
人口伸率	6.7%
高齢化率	20.3%



泉佐野市

■面積

行政区域面積	54.38㎢
市街化区域面積	2,062ha

■人口動態

人口	98,889人
世帯数	36,065世帯
人口密度	1,797人／㎢
人口伸率	2.9%
高齢化率	18.6%

岬町

■面積

行政区域面積	49.06㎢
市街化区域面積	704ha

■人口動態

人口	18,504人
世帯数	6,743世帯
人口密度	377人／㎢
人口伸率	△6.5%
高齢化率	26.0%

阪南市

■面積

行政区域面積	36.10㎢
市街化区域面積	1,188ha

■人口動態

人口	57,616人
世帯数	19,844世帯
人口密度	1,596人／㎢
人口伸率	△1.0%
高齢化率	17.4%

泉南市

■面積

行政区域面積	48.25㎢
市街化区域面積	1,302ha

■人口動態

人口	64,683人
世帯数	21,751世帯
人口密度	1,341人／㎢
人口伸率	0.8%
高齢化率	18.6%

岸和田市

平成19年度当初予算総額　178,752百万円　対前年度比　4.1%増
平成19年度一般会計予算　65,509百万円　対前年度比　2.1%減

Ⅰ．予算の特色

「岸和田の再生」のため、「５つの再生（行財政の再生、地域の再生、都市の再生、産業の再生、自然の再生）」の実現を目指し、その中でも、「行財政の再生」を断行することが喫緊の課題として予算を編成した。

平成18年10月に市長直轄の「行財政危機対策チーム」を設置。平成19年度～23年度を計画期間として「きしわだ行財政再生プラン」を策定し、職員の住居手当などの諸手当の削減、管理職手当・期末勤勉手当のカットなどによる人件費の抑制にはじまり、あらゆる事業事業について見直しを行い、「行財政の再生」に取り組んでいるところである。

平成19年度予算においては、先に作成された「同プラン（中間報告）」に掲げられた方策を反映し、徹底して歳出の抑制に努める一方で、限られた財源を少子高齢対策や安全安心なまちづくり、快適な都市空間の創造等に重点的に予算の配分を行った。

Ⅱ．施策体系別主要事業一覧

	予算額 単位万円
1．新しいまちづくりの推進	
①自治基本条例趣旨普及事業	44
②公民協働システム推進事業	47
③行政経営システム構築事業	150
2．人間を尊重する教育・文化のまち	
①岸和田サテライト支援事業	231
②放課後子ども教室推進事業	300
③公立幼稚園アフタースクール事業〔預かり保育〕	373
3．ともに築く健康と福祉のまち	
①小児初期救急広域センター整備事業	15,897
②コミュニティソーシャルワーカー配置事業	6,380
③中学校給食サポート事業㊨	32
④地域子育て支援センター事業	867
⑤ブックスタート事業㊨	130
⑥乳幼児医療助成事業（H19．７月より４歳児未満に拡充）	28,318
4．地球と人にやさしい環境のまち	
①地域新エネルギー構想推進事業	700
②農業集落排水整備事業	2,067
③不法投棄防止事業	325
5．安全で快適な都市的魅力のあるまち	
①消防本部庁舎等施設整備事業㊨	4,000
②既存建築物耐震改修促進実施計画策定事業㊨	1,063
③小・中学校耐震補強事業	3,500
④ＪＲ久米田駅バリアフリー化設備整備事業㊨	3,000
⑤ＪＲ阪和線東岸和田駅付近高架化事業	100,898
⑥東岸和田駅東地区防災街区整備事業	139,613
6．活力ある産業振興のまち	
①阪南２区整備推進事業	334,530
②産業振興新戦略策定事業㊨	30
③岸和田ブランド創出事業	100

貝塚市

平成19年度当初予算総額　62,741百万円　対前年度比　2.0%増
平成19年度一般会計予算　26,579百万円　対前年度比　2.5%増

Ⅰ．予算の特色

平成19年度の予算編成にあたっては、平成18年度から５年間で集中的に取り組んでいく「貝塚市行財政改革実施計画」を強力に推進していき、本市の自主自立のために、後年度の行財政需要に対応できる財政体質の構築に最重点をおき、「安全・安心なまちづくり」を目指し、学校施設の耐震化、子どもの安全対策、災害に強いまちづくりに予算を重点配分することを基本とし、厳しい財政状況の中にあっても、経費の徹底的な見直しに努め、限りある財源を効率的・効果的に活用し、「元気あふれる　みんなのまち　貝塚」の実現にむけ、健全な財政運営と市民福祉の更なる向上を念頭に予算編成を行った。

Ⅱ．施策体系別主要事業一覧

	予算額 単位万円
1．安全・安心なまちづくり事業	
①消防署（水間出張所）建替事業㊨	3,384
②防災物品整備事業	644
③防災農地整備事業㊨	250
④洪水・土砂災害危険区域ハザードマップ作成事業㊨	1,000
⑤浸水対策（雨水事業）	20,750
2．快適で健康に暮らせるまちづくり事業	
①乳がん高度検診・治療センター整備事業	3,330
②南海貝塚駅バリアフリー化事業㊨（エレベーター設置）	700
③南海貝塚駅西口広場整備事業㊨	3,564
④安心歩行エリア推進事業（駅南線）㊨	4,000
3．個性的で元気なまちづくり事業	
①「バレーボールのまち貝塚」推進事業	1,956
②東山丘陵地特定土地区画整理事業	200
③学校評価システム研究事業	50

泉佐野市

平成19年度当初予算総額　93,172百万円　対前年度比　8.2%減
平成19年度一般会計予算　40,068百万円　対前年度比　17.9%減

Ⅰ．予算の特色

平成19年度予算の編成方針は、基本的には財政健全化計画期間と変わることのない予算編成とした。また、国が予定している再生法制に関わる課題として、宅地造成事業会計などの特別会計及び土地開発公社の財政健全化に取り組む必要があるため、老朽化した義務教育施設等の整備などの重点項目には配慮したものの、集中改革プランに掲げる民間委託等の推進、宅地造成事業会計の健全化などを着実に進めることを盛り込んだものとしている。その結果、一般会計においては借換債、前年度繰上充用金及び宅地造成事業会計貸付金を除く実質的な歳出規模では前年度に比べ5.3%の増となっているが、市トータルの真の財政健全化をめざす「再スタート予算」とした。

Ⅱ．施策体系別主要事業一覧

	予算額 単位万円
1．すべてのひとが輝く社会の実現	
①人権啓発事業	3,482
②生活相談事業	3,847
2．ひとを大切にし、やすらぎを感じるまちづくり	
①コミュニティソーシャルワーカー配置促進事業	2,320
②高齢者生活支援ハウス事業	1,444
③後期高齢者医療事務事業㊨	2,190
④老人医療助成事業	23,195
⑤障害者ショートステイ・ホームヘルプ事業	12,037
⑥障害者医療費助成事業	17,627
⑦障害者地域生活支援事業	9,116
⑧佐野台・北中小学校留守家庭児童会整備事業㊨	3,143
⑨放課後児童対策事業	3,968
⑩児童扶養手当事業	56,664
⑪民間保育所対策事業	152,102
⑫母子家庭等自立支援推進事業	459
⑬健康増進事業（健康診査、予防接種等）	13,188
3．ひとを豊かに育み、ふれあいを感じるまちづくり	
①国際交流事業	1,082
②奨学金貸付事業	1,502
③私立幼稚園就園助成事業	6,111
④教育支援事業	1,361
⑤学校支援コーディネーター配置㊨	297
⑥学校安全緊急対策事業	2,080
⑦北中小学校整備事業	7,801
⑧第三中学校整備事業	49,988
4．ひとの活力をうみ、うるおいを感じるまちづくり	
①美化推進事業	5,998
②地域就労支援事業	1,418
③商工業振興事業	5,028
④商工会議所施設整備事業㊨	4,000
⑤観光振興事業	731
5．ひとが安心し、くつろぎを感じるまちづくり	
①第４次総合計画策定㊨	950
②コミュニティバス事業	2,562
③南海本線連続立体交差事業	15,500
④泉佐野駅前広場整備事業	12,760
⑤末広公園整備事業	90,809
⑥鶴原団地住宅（１～５棟）建替事業	5,946

泉南市　※

平成19年度当初予算総額　40,474百万円　対前年度比　1.9%増
平成19年度一般会計予算　19,108百万円　対前年度比　4.8%減

Ⅰ．予算の特色

平成19年度予算の編成は、依然と厳しい財政状況の中で臨むことになるが、財政健全化に向け財政構造の改革を図ることを基本とし、第１の目標としては、実質収支の黒字決算を堅持すること。第２の目標としては、経常収支の更なる改善をはかること。第３の目標としては、実質的な将来負担額の圧縮をはかることとする。

歳入面では、自治体存立の根幹を成す市税収入の確保に最大限の努力を傾注すること。課税客体を的確に把握し、確実な徴税システムを構築するなど、徴収率の向上に向けて組織的な取組を進めること。また、使用料及び手数料をはじめ、あらゆる制度を見直すなど、地方債以外の新たな財源の掘り起こしに努めることとする。

歳出面では、引き続き経常経費の縮減に努めること。市民本位の行政サービスを念頭に、遊休土地の活用も含め各部局の創意工夫のもと、現場の実情を踏まえて施策の「選択」と「集中」をこれまで以上に徹底し、限られた財源の適切な配分に努めることとする。

Ⅱ．施策体系別主要事業一覧

	予算額 単位万円
1．ふれあいのあるまち　いきがいのあるまち	
①小学校施設整備事業	21,342
②中学校施設整備事業	20,996
③子ども安全パトロール隊街頭犯罪抑止事業	317
④埋蔵文化財センター事業	959
2．げんきなまち　やさしさのあるまち	
①乳幼児医療助成事業	6,905
②老人集会場運営事業	3,052
③公立保育所事業	1,627
④民間保育所事業	3,598
⑤子育て支援事業	538
3．安全なまち　活力のあるまち	
①環境整備対策事業	314
②溜池改修事業	1,971
③防災用広報システム整備事業	5,049
④消防体制の整備㊨	6,605
⑤交通安全対策事業	6,008
⑥農業振興事業	13,287
⑦農業公園費	1,216
⑧商工業振興事業	1,597
⑨商業活性化事業	10,090
⑩行政情報ネットワーク整備事業	3,107
4．快適なまち　個性のあるまち	
①市営宮本住宅２・３号建替事業	1,563
②和泉砂川駅前整備事業	1,706
③信達樽井線改良事業	26,436
④砂川樫井線新設事業	10,955
⑤防潮堤道路整備事業	1,497
⑥道路新設改良事業	5,256
5．構想実現のために	
①ＡＢＣ委員会への助成	311
②広報活動の充実	1,908
③住民情報システムの運用	13,791

阪南市

平成19年度当初予算総額　35,316百万円　対前年度比　5.2%減
平成19年度一般会計予算　14,543百万円　対前年度比　14.5%減

Ⅰ．予算の特色

第二次阪南市財政再建実施計画（平成18年10月策定）の初年度となる平成19年度当初予算の編成に当たっては、同計画の基本方針である「持続可能な行財政運営システムの構築」を踏まえ、本市の将来の行財政運営の将来像を展望しつつ、市民生活に重大な影響を及ぼす財政再建団体への転落を回避するとともに、将来に過度の負担を残さずに、激変する市民ニーズへ柔軟に対応することを基本に予算編成を行った。予算の配分については、市民生活の安全と安心の確保に主眼を置き、市民・民間・行政との適切な役割分担のもと、限られた財源と人材を重点的かつ効果的に活用して費用対効果と市民満足の向上を目指し、最少の経費で最大の効果を挙げることを基本とした。

Ⅱ．施策体系別主要事業一覧

	予算額 単位万円
1．安心・安全のまち：やすらぎのある住環境を支える社会システムの形成	
①地域活動支援センター事業㊨	1,200
②障害者相談支援事業㊨	671
③老人福祉センター改修事業㊨	1,000
④西鳥取保育所民営化に伴う私立保育所運営事業㊨	27,419
⑤予防接種実施事業	2,532
⑥前立腺がん検診事業㊨	123
⑦乳幼児医療助成事業	7,252
⑧後期高齢者医療準備事業㊨	4,129
⑨介護予防サービス計画作成事業	2,061
⑩洪水ハザードマップ作成事業㊨	512
⑪留守家庭児童会運営事業	4,113
⑫自動体外式除細動器（ＡＥＤ）設置事業	175
⑬オストメイトトイレ設置事業㊨	89
⑭耐震改　修促進計画作成事業㊨	473
⑮自主防災組織育成事業	106
⑯防災情報充実強化事業	111
2．出会い、躍動するまち：次世代に引き継ぐ都市基盤の形成	
①和泉鳥取駅前地区整備事業	6,980
②駅前自転車等駐車場運営事業	3,699
③コミュニティバス運行事業	4,455
④し尿処理施設運営事業	22,538
3．楽しく暮らせるまち：豊かな住生活を支える環境の形成	
①火葬場建設事業	500
②ため池整備事業	2,607
③アダプトプログラム推進事業	15
4．心の豊かさを育むまち：生涯にわたって自分らしく生きる人を育て文化を育む環境の形成	
①教育施設耐震優先度調査実施事業㊨	1,750
②教育施設耐力度調査実施事業㊨	1,250
③波太小学校放送設備改修事業㊨	460
④放課後子ども教室推進事業㊨	102
⑤文化センター大ホール調光器盤等機器改修事業㊨	9,198
5．多様な産業の育つまち：居住都市にふさわしい産業構造の形成	
①地域就労支援事業	372
②消費者相談事業	188
③阪南ブランド育成事業	10
④企業誘致促進奨励金交付事業	1,368
6．人をおもいやり生かすまち：あらゆる市民が参画し、公正で開かれた地域社会の形成	
①男女共同参画推進事業	55
②市民活動推進事業㊨	27
③議会だより（声の広報）作成事業㊨	13
④人権相談運営事業	270
⑤地域まちづくり協議会推進事業	170
⑥市税滞納管理システム導入事業㊨	1,750

熊　取　町　（骨格）

平成19年度当初予算総額　23, 328百万円　対前年度比　0.3%増
平成19年度一般会計予算　10, 812百万円　対前年度比　5.7%減

Ⅰ．予算の特色

歳入面では、町税収入が「三位一体の改革」などの影響により大幅増となる一方で、所得譲与税、地方特例交付金及び減税補てん債の縮小・廃止や地方交付税の減少により非常に厳しい状況が続いている。

歳出面については、「行財政構造改革プラン」や「同アクションプログラム」に基づき、各種事業の見直しを図るとともに、「骨格予算」として編成しているものの、次期総合計画の策定に向けた取り組みや法令等による新規事業の経費をはじめ、これまで計画的に進めてきた町営住宅建替事業や小学校の大規模改造工事、「安全・安心なまちづくり」や子育て支援、「熊取アトムサイエンスパーク構想」の推進、「太極拳のまち“くまとり”」のＰＲ活動など継続的事業等に配慮した。

Ⅱ．施策体系別主要事業一覧

	予算額 単位万円
1．世界に開かれたまちづくり	
①国際化の推進	403
2．多様な個性と文化を生みだすまちづくり	
①「歴史とふれあいの拠点」でのまちづくりの展開	130
②学校教育環境の整備	16, 867
3．健やかでふれあい豊かなまちづくり	
①子育て支援事業の推進	1, 336
②保健福祉事業の推進	8, 177
4．快適に楽しく暮らせるまちづくり	
①「生活支援の拠点（シビックゾーン）」でのまちづくりの展開	70, 408
②「自然緑地拠点」でのまちづくりの展開	340
③安全・安心なまちづくりの推進	2, 463
④環境対策の推進	1, 213
5．利便性と安全性にすぐれたまちづくり	
①道路整備事業の推進	10, 556
②上水道・下水道事業の推進	83, 469
6．活力ある生き生きとした生活を支えるまちづくり	
①産業の振興	885
7．総合的で計画的なまちづくり	
①行財政運営の推進	868
②熊取アトムサイエンスパーク構想の推進	45

田 尻 町

平成19年度当初予算総額　9,870百万円　対前年度比　6.1％増
平成19年度一般会計予算　6,558百万円　対前年度比　7.2％増

Ⅰ．予算の特色

平成19年度当初一般会計予算は、長期的視点でみると単年度ベースでの収支均衡が図れず赤字財政が続くという財政危機に対応するため、財政健全化の実行や全ての事務事業を対象に実施した事務事業評価を反映させるなど、町債の借換えといった特殊要因を除いたうえで、前年度比約2.3％減となる超緊縮型予算として編成した。財政健全化を図る施策として、退職者不補充による職員数の削減などの内部経費削減の継続や固定資産税前納報奨金及びふれ愛センター送迎バスの廃止などの措置をとった。主要なハード事業としては、町民が安心して暮らせるまちづくりに資する事業として、中学校体育館耐震補強事業の実施、老朽化対策と衛生面の向上を目指し、学校給食場の改修事業に厳選した。

Ⅱ．施策体系別主要事業一覧

	予算額 単位万円
1．元気と安心の暮らしづくり	
①老人福祉センター事業	567
②障害者地域生活支援事業	1,568
③心身障害児通園事業	1,045
④老人医療費助成	1,200
⑤一部負担金助成	1,400
⑥障害者医療費助成	550
⑦ひとり親家庭医療費助成	530
⑧乳幼児医療費助成	1,600
⑨放課後子ども教室推進事業	50
⑩安全なまちづくり推進事業	11
2．水と緑の環境づくり	
①遊休農地対策事業	24
②ごみ減量化及びリサイクル関係事業	29
3．ふれあいと人権尊重のまちづくり	
①人権協会の運営	90
②人権のつどい開催	55
③男女共同参画講座	10
4．明日につながる「まち文化」づくり	
①教育相談事業	232
②中学校体育館耐震補強事業	5,193
③学校給食場改修事業	6,793
④町史編纂事業	1,671
5．ゆたかな暮らしの基盤づくり	
①地籍調査事業	660
②下水道（雨水管整備）事業	14,000

	予算額 単位万円
6．であいと暮らしの基盤づくり	
①泉州黄玉ねぎの普及支援事業	24
②商工振興資金利子補給事業	1,500
③企業誘致促進奨励事業	2,100
④地域就労支援事業	454
7．住民主体のまちづくり	
①まちづくり講演会の実施	24
8．財政健全化に向けた取組み	
①歴史館指定管理者指定委託	501
②多目的グラウンド指定管理者指定委託	403

岬　町

平成19年度当初予算総額　14, 985百万円　対前年度比　8.2%減
平成19年度一般会計予算　6, 390百万円　対前年度比　18.6%減

Ⅰ．予算の特色

歳入については、町税収入が個人住民税の税源移譲、固定資産税の超過税率の導入により10年ぶりに増加したが、譲与税等や特例交付金等が減少となったため、基金全額を取崩し必要額の確保を行なった。一方、歳出については、「集中改革プラン」により行財政改革に取り組んだものの、公債費や少子高齢化に伴う社会保障関係費などが増加となった。そのため、深日小学校耐震補強事業や海釣り公園整備事業などの主要事業は内容を厳しく精査し、新規事業は実施しないことを原則とし、関係法令に基づくものや補助事業等に限り予算措置を行なった。このような大変厳しい状況の中で、財政再建団体への転落の回避に向け、「第３次総合計画」に掲げる「笑顔あふれる　いきいきタウン“みさき”」の実現に向けて、「選択と集中」によるメリハリのついた内容とした。

Ⅱ．施策体系別主要事業一覧

	予算額 単位万円
1．自然のもとで、元気に安心して暮らせるまち	
①がん、肝臓疾患対策等のための各種健診の実施	1, 805
②各種医療助成事業（乳幼児・老人・障害者・ひとり親）	1, 550
③高齢者・身体障害者住宅改造事業補助金	450
④生活支援ハウス運営事業	1, 320
⑤障害福祉サービスの実施	14, 859
⑥放課後児童健全育成事業	2, 161
⑦子育て支援事業（子育て支援センター事業を含む）	450
⑧児童措置事業	11, 174
⑨老人医療助成事業	24, 558
⑩健康ふれあいセンターの運営（指定管理者制度）	6, 963
⑪地域福祉計画策定事業㊨	220
⑫障害者自立支援制度円滑導入経費㊨	200
⑬後期高齢者医療広域連合事業㊨	585
2．自然にふれあい、心豊かに暮らせるまち	
①スクールカウンセラー設置事業	113
②総合生活相談事業	175
③進路支援事業	189
④子どもの安全対策事業	492
⑤外国青年招致事業	1, 004
⑥小学校耐震改修事業	3, 530
⑦学校水泳事業	523
⑧第二阪和国道文化財発掘調査事業	1, 584
⑨幼稚園３才児保育の実施㊨	335
3．自然を生かして、いきいき魅力満載のまち	
①漁港改修事業	2, 910
②地域活性化イベント開催補助金	40
③地域就労支援事業	405
④有害鳥獣対策事業	650
⑤海釣り公園整備事業	5, 979
4．自然を守り、安全で快適に暮らせるまち	
①自然海浜保全事業の実施	161
②分別収集事業	14, 913
③ごみ処理施設の運営	20, 613
④土砂災害情報システム整備事業（大阪府受託事業）	673
⑤不法投棄対策事業	46
5．自然と共生し、便利に暮らせるまち	
①下水道事業の推進	27, 798
②路線バス対策補助金	4, 200
③公営住宅改修事業	730
④町道西畑線整備事業	2, 932
⑤第二阪和国道建設促進事業	80
⑥土砂採取跡地整備事業（大阪府受託事業）	46, 000
⑦特定交通安全施設等整備事業（大阪府受託事業）㊨	2, 500
⑧集会所整備事業㊨	230